

**令和6年度
大阪・関西万博に係る定置網漁業等の
理解増進のための情報発信促進救急委託事業**

事業実績報告書

2025.7.31

TOPPAN

目次

仕様の整理

- 仕様の整理 03~05
- 事業実施スケジュール 06

全体概要

- 開催概要 08
- 会場情報 09~12
- 会場アクセス 13
- 出展原課一覧 14
- 実施運営体制 15~16

(1) スマート×グリーン技術の実証(水産業)ブース展示計画(展示デザイン含)の作成

スマート水産業ブース全体概要

- スマート水産業ブース 概要 18~20
- スマート水産業ブース 構成 21~24

パネル・キャプション関連

- パネル関連 26~30
- キャプション関連 31~34

映像関連

- 映像関連 36

実物展示関連

- 実物展示関連 38~40

(2) 展示ブースの設営と運営管理および撤収

搬入出・設営撤去関連

- 搬入出全体スケジュール 42
- 会場駐車場情報 (6月7日(土)施工時) 43
- 搬入・設営詳細 44
- 会場駐車場情報 (15日(日)撤去時) 45
- 搬出・撤去詳細 46
- 搬入出日にWASSE会場駐車場を利用しない搬入・搬出について 47
- 各展示事業者の駐車場の予約、利用について 48
- 各展示事業者の持込禁止物例外措置申請に関して 49

運営関連

- 運営全体スケジュール 51
- スマート水産業ブースへのVIP来訪 52
- スマート水産業ブースへのメディア来訪 53
- 控室・服装関係 54
- 緊急時 (エスカレーション) の対応 55
- 本番時ブース運営 56
- シフト表 57~58

(3) 事業実績報告書の作成

写真報告

- ブース写真報告 60~61
- 運営時写真写真報告 62~64

その他

- 全体アンケート関係 66~71
- エピローグ壁面コンテンツ関係 72~73
- 来場者人数関係 74~76
- 目標設定とその結果 77
- 目標数値に対する結果 78

仕様の整理_①

事業名

令和6年度大阪・関西万博に係る定置網漁業等の理解増進のための情報発信促進救急委託事業

事業目的

2025年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博」という。）において、令和7年6月に予定されている『食と暮らしの未来ウィーク』の期間中に、他の農林水産業・食品関係の展示とともに、スマート×グリーン技術の実証（水産業）というテーマで展示を行う。

大阪・関西万博では、老若男女・国籍を問わず様々な来場者が予想されるところ、来場者に対して、定置網という我が国に特徴的かつ伝統的な漁法におけるスマート技術の活用やグリーン技術の導入に取り組む姿を発信することで、我が国の水産分野における伝統と先端技術の調和や、SDGsに向けた取組への理解醸成を図ることを目的としている。

このため、本事業では、**大阪・関西万博において、スマート技術を用いた定置網漁業における漁業管理等に関する我が国の取組をわかりやすく伝える展示を行うことを目的とする。**

実施要件

実施要件としては、仕様書記載のとおり**以下の(1)～(3)に掲げる内容を実施。**

(1) スマート×グリーン技術の実証(水産業) ブース展示計画（展示デザイン含）の作成

本事業を実施するにあたって事業を円滑に進めるための展示計画（展示デザインも含む）を作成する。なお、展示内容については、仕様書P.4【想定される展示内容について（（1）スマート技術を用いた定置網漁業における漁業管理）（2）グリーン技術の活用に向けた取組】に準じて作成するとともに、必要に応じて、展示内容に関する専門的な知見や技術を有する協力機関を確保する。また、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（以下、「博覧会協会」という。）の求めに応じて必要な書類を作成する。

▶ **P.18～P.39に実施詳細を記載**

(2) 展示ブースの設営と運営管理および撤収

『食と暮らしの未来ウィーク』の展示全体を統括する事業者との調整のうえ、展示計画をもとに展示ブースの設営と運営、および撤収を行う。

▶ **P.41～P.57に実施詳細を記載**

(3) 事業実績報告書の作成

本事業が終了したとき（本事業を中止し、又は廃止したときも含む。）は、事業実績報告書を提出すること。また、展示の様子がわかるように写真を撮影し、同様に提出する。

▶ **P.59～P.63に報告写真あり**

事業目的詳細

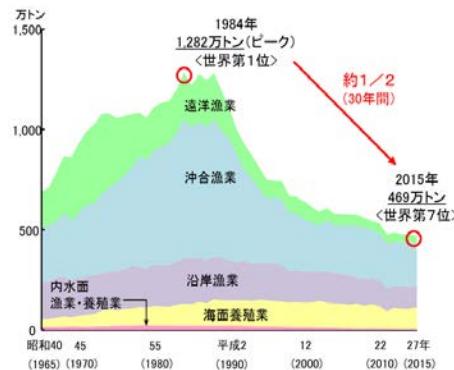
現状と課題の整理

(1) 日本における漁業生産量の減少

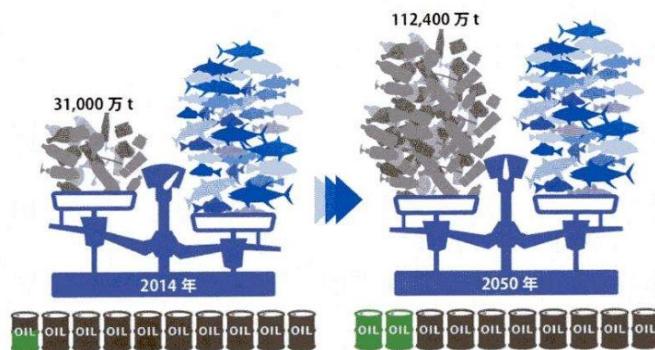
水産庁の水産白書によると、世界の漁業生産量はこの30年間で約2倍になった一方で、**日本国内の漁業生産量は1/3に減少(※下図①参照)**しており、漁業を担う漁業就業者は高齢化が進む一方である。また、気候変動等による海洋環境の変化が水産資源の分布・回遊に大きな影響を与えるなど、漁業や漁村を取り巻く環境変化も大きい。漁業者1人当たり・漁船1隻当たりの生産量は、諸外国に比べて少なく、生産性の低さが課題として挙げられている。その要因の1つとして、日本国内の漁業現場では、経験や勘に頼った操業が行われており、データの活用が推進されていないことが考えられる。このような背景から、**一般消費者への現在の水産業に関する現状の周知や、水産業関係者に対するスマート技術の導入・推進は急務**として考える。

(2) 海洋プラスチックごみ問題

ニチモウ株式会社の報告によると、海洋プラスチックごみは世界で約1億5,000万トンと推定され、日本国内の海洋プラスチックごみに占める漁具の割合は、重量比率で29%、容積比率で28%と報告されている。**現在のまま2050年を迎えると、廃棄プラスチックと魚の量が同様になること。(下図②参照)**陸域由来のものを含めた海洋ごみ全体の内、少なくとも10%は漁業由来で、年間50万トンから100万トンの漁具が海洋に流出しており、北太平洋旋廻の太平洋ごみベルトでは、浮遊するプラスチックの内、漁船などの船舶から流出した漁網・釣り糸・ロープが46%を占めている。その為、令和元年6月に開催されたG20大阪サミットにおいては、海洋プラスチックごみによる新たな汚染を2050年までにゼロにすることを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有されるなど、**海洋プラスチックごみ問題は、政府全体で取り組むべき喫緊の課題**である。



図①：日本の漁業生産量の推移
(参照：水産白書)



図②：廃棄プラスチック量の予想推移
(参照：World Economic Forum. The new plastics economy rethinking the future of plastics.2016.)

本事業において実現すること

＜スマート水産業やグリーン技術(漁網リサイクル)に触れる機会を創出し、正しい知識の情報提供・普及啓発を実施し、業界全体の活性化に繋げる＞

(1) スマート技術を用いた定置網漁業における漁業管理

我が国における定置網漁業の歴史から漁業管理に資する技術開発の取組を、説明パネル、映像及び展示物を用いた展示による解説並びに定置網本体の縮小模型、スマート機器の実物及びスマート機器から得られたデータ・映像等を用いた展示によって発信することで、現場へのスマート技術普及を促進するとともに、国内外からの来場者に対して**我が国水産業のイメージ向上を図ることを目指す**。

(2) グリーン技術の活用に向けた取組

我が国で進められている漁網のリサイクルに関する取組について、説明パネル等を用いて解説するとともに、漁網リサイクル製品を使った展示物等を展示することで、国内外からの来場者に対して**水産資源の持続的な利用に向けた我が国の取組への理解醸成を図ることを目指す**。

▶上記目標に対する結果はP.76【目標設定とその結果】に記載。

成果目標

本事業における成果目標は下記の通り、大阪・関西万博におけるターゲットや来場者数を踏まえた上で、各展示における想定体験数を成果目標とし、企画～運営までを行った。

ターゲット

- ・多様な普及力が期待できる様々な世代やその家族をターゲットとした。
- ・インバウンド需要が高まる世情を踏まえ、国内だけでなく国外層への訴求も視野に入れた。

来場者数

メッセ会場への1日の来場者数は、**約6000人/日を想定**。

(メッセ来場者の想定数は、2020年12月に発表された「2025年日本国際博覧会基本計画」より発表された万博総来場者数2,820万人を、万博全日の日数で割ったのち、1日の万博来場者数の10%の人がEXPOメッセに来場する前提で算出。)

成果目標

下記数値を実際の大阪・関西万博における、スマート農業技術展示での想定体験数として設定・成果目標とし、各実施内容の企画・制作を行った。

①展示品・説明パネル

展示ブースが37m²にあたるため、約10名程度が技術展示を鑑賞できる。

その為、**全日にて約5,000人以上を目標数値**と設定した。

なお、お客様に体験いただく技術を実施する際は、**約500人以上を目標数値**と設定した。

②概要パネル

エリア内に入らず通路入口に展示予定のパネルなど（本展示の概要パネルなど）関しては、

全日にて約40,000人を観覧目標数値と設定した。

▶ **上記目標に対する結果はP.76【目標数値に対する結果】を参照**

事業実施スケジュール

スケジュール

	2025年											
	4月			5月			6月			7月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
全体企画												
企画・設計 展示計画作成	●											
ブース施工 調達、リース手配、製作	●	●	●	●	●	●	●	●				
ブース施工 設営								●				
ブース施工 撤去								●				
ブース運営 搬入・搬出調整		●	●	●	●	●						
ブース運営 運営マニュアル作成				●	●	●	●					
ブース運営 本番								●				
(1) スマート技術を用いた定置網漁業における漁業管理												
企画・設計	●	●	●	●								
関係各所調整 展示内容整理	●	●	●	●								
関係各所調整 監修依頼	●	●	●	●	●	●	●					
展示 パネル・キャプションデザイン	●	●	●	●	●	●						
展示 パネル・キャプション製作							●	●				
展示 映像制作	●	●	●	●	●	●	●					
展示 模型など展示物手配調整	●	●	●	●	●	●	●					
展示 模型など展示物運搬								●	●			
(2) グリーン技術の活用に向けた取組開												
企画・設計	●	●	●	●								
関係各所調整 展示内容整理	●	●	●	●								
関係各所調整 監修依頼	●	●	●	●	●	●	●					
展示 パネル・キャプションデザイン	●	●	●	●	●	●	●					
展示 パネル・キャプション製作							●	●				
展示 映像制作	●	●	●	●	●	●	●					
展示 漁網リサイクル製品など展示物手配調整	●	●	●	●	●	●	●					
展示 漁網リサイクル製品など展示物運搬								●	●			
ノベルティ制作	●	●	●	●	●	●	●	●				
報告書作成												
報告書作成										●	●	●



全体概要



日本の食文化と農林水産業と、“リレー”しよう

日本の食文化や農林水産業と聞くと、いかにも昔から守り伝えられてきたものという認識で、どこか距離感のある、とっつきにくい印象を持つ方も少なくありません。しかし、見方を変えれば、私たちが口にする食材や料理、食事形式も、いつか日本の食文化や農林水産業として紹介されるのかもしれません。

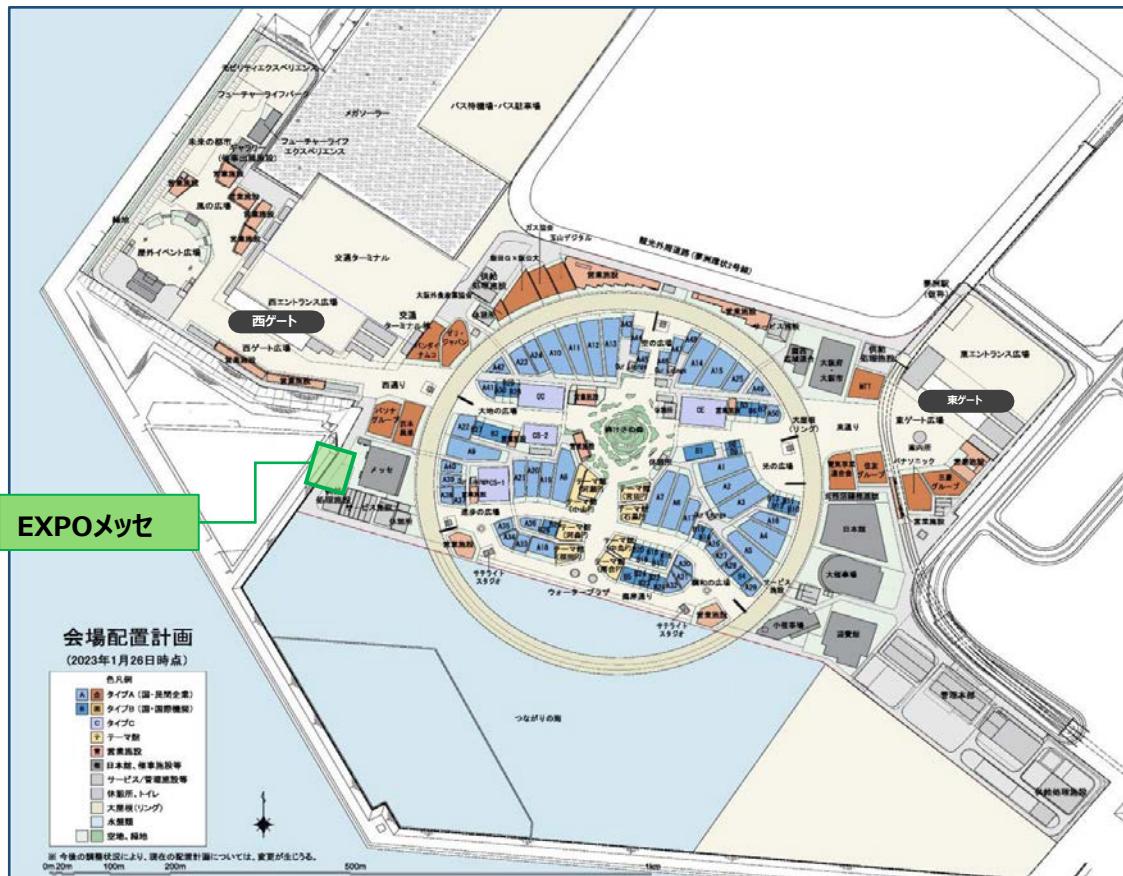
ただ昔からのやり方を守るだけではなく、生活者一人ひとりの食の営みによって、未来に繋がっていくものだと思います。

日本の食文化や農林水産業に触れ、リレーのように、あなたが未来に繋いでいきたい「食」について、ともに考えましょう。

タイトル	「RELAY THE FOOD～未来につなぐ食と風土～」
実施者名	農林水産省、国税庁、文化庁
プログラム概要	EXPOメッセ「WASSE」及び、「ポップアップステージ西」において、国内外の来場者向け、多様な地域の食、伝統文化や地域の資源、最先端技術等を発信する。
実施場所 実施日時	<p>①EXPOメッセ「WASSE」 2025年6月8日（日）～15日（日） 初日以外10:00～20:00（19時最終入場） ※6月8日（日）一般入場は13:00～</p> <p>②ポップアップステージ西 2025年6月7日（土）、8日（日）、14日（土）、15日（日）</p>
プログラム詳細	<p>「日本の農林水産業の技と食文化は世界をもっと豊かにつなぐ」のコンセプトのもと、日本の食・農林水産業の魅力を発信するため、農林水産省、国税庁、文化庁の17以上の部局が、EXPOメッセ「WASSE」及び、「ポップアップステージ西」において、国内外の来場者に向けて、多様な地域の食、伝統文化や地域の資源、最先端技術等を発信。</p> <p>メイン展示先となる「WASSE」においては日本の食・農林水産業を3つの構成要素に基づいたエリア展示を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統をつなぐ：何世代も受け継がれてきた日本の伝統的な農林水産業により形成された風景や地域の営み、食などを紹介。 ・ 多様性をつなぐ：日本に根ざした、多様性のある品目を見つめなおし、また様々な品目から日本の食を再認識。 ・ 未来へつなぐ（スマート水産業出展エリア）：日本の食を支える農林水産業それぞれの強み、課題、未来に繋げていくための取り組みを紹介。

全体図

■会場全体図



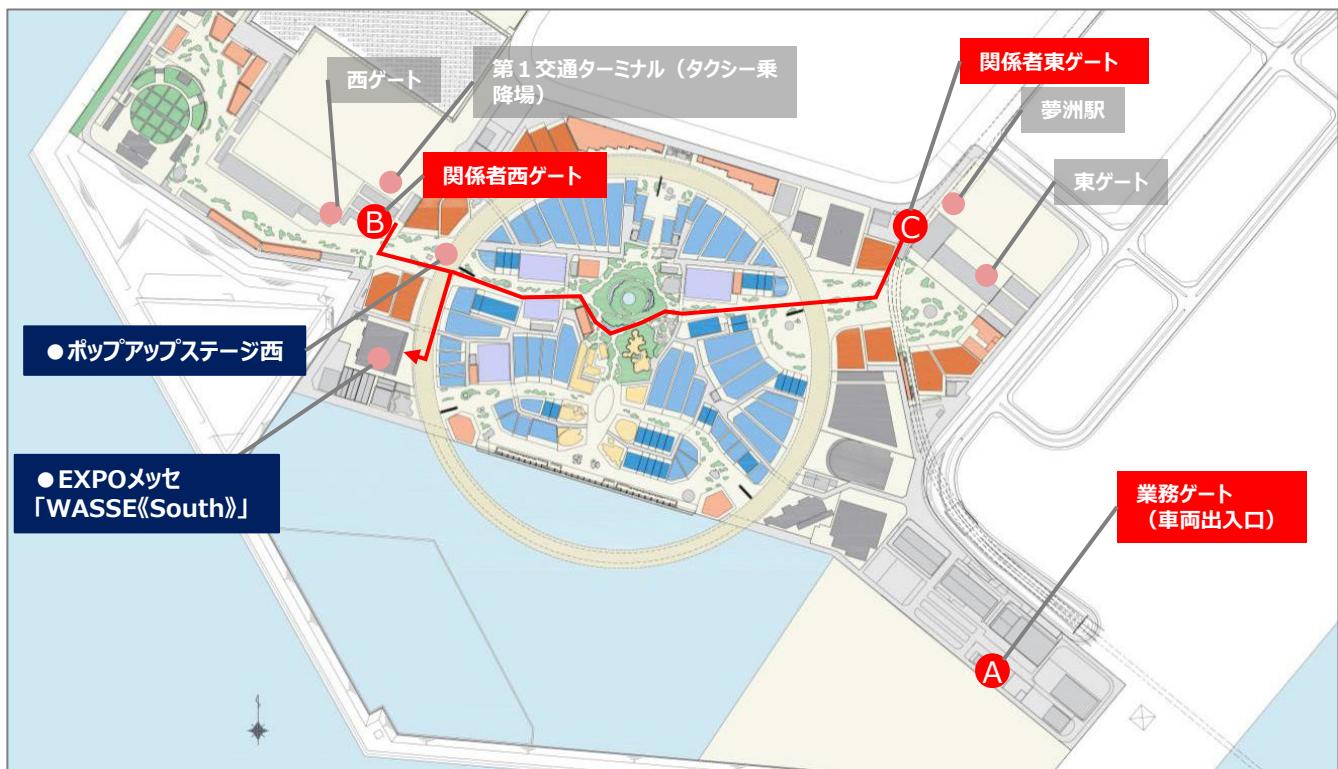
■EXPOメッセ内イメージ図



会場情報_②

ゲート情報

EXPOメッセ「WASSE」、ポップアップステージ西及び各ゲートの場所について



■各ゲートについて

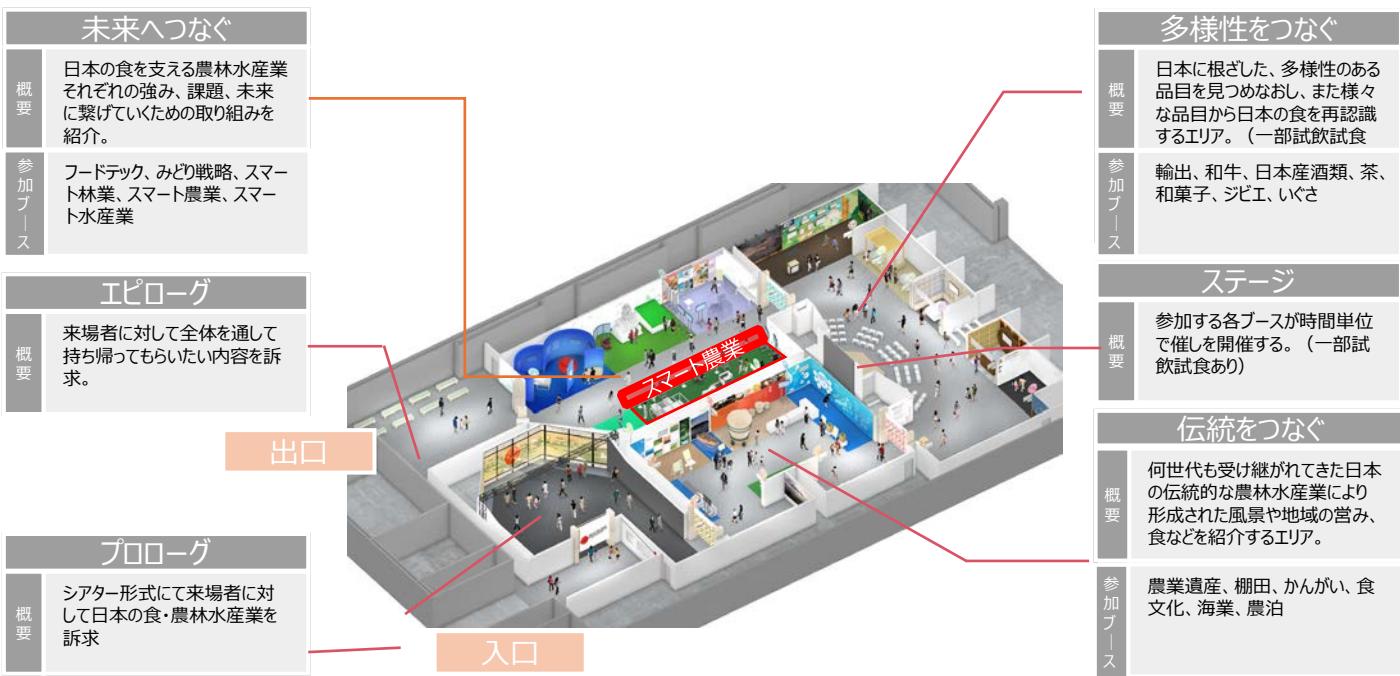
地図上のポイント	ゲート名	ゲート利用可能時間
A	業務ゲート (車両出入口)	車両証による入退場時間に準ずる
B	関係者西ゲート	24時間利用可能
C	関係者東ゲート	大阪メトロ夢洲駅の始発～終電まで ※7時～8時30分（予定）の時間帯は、 一般来場者用東ゲートからも関係者が入場可能

■各ゲートと会場施設迄の距離

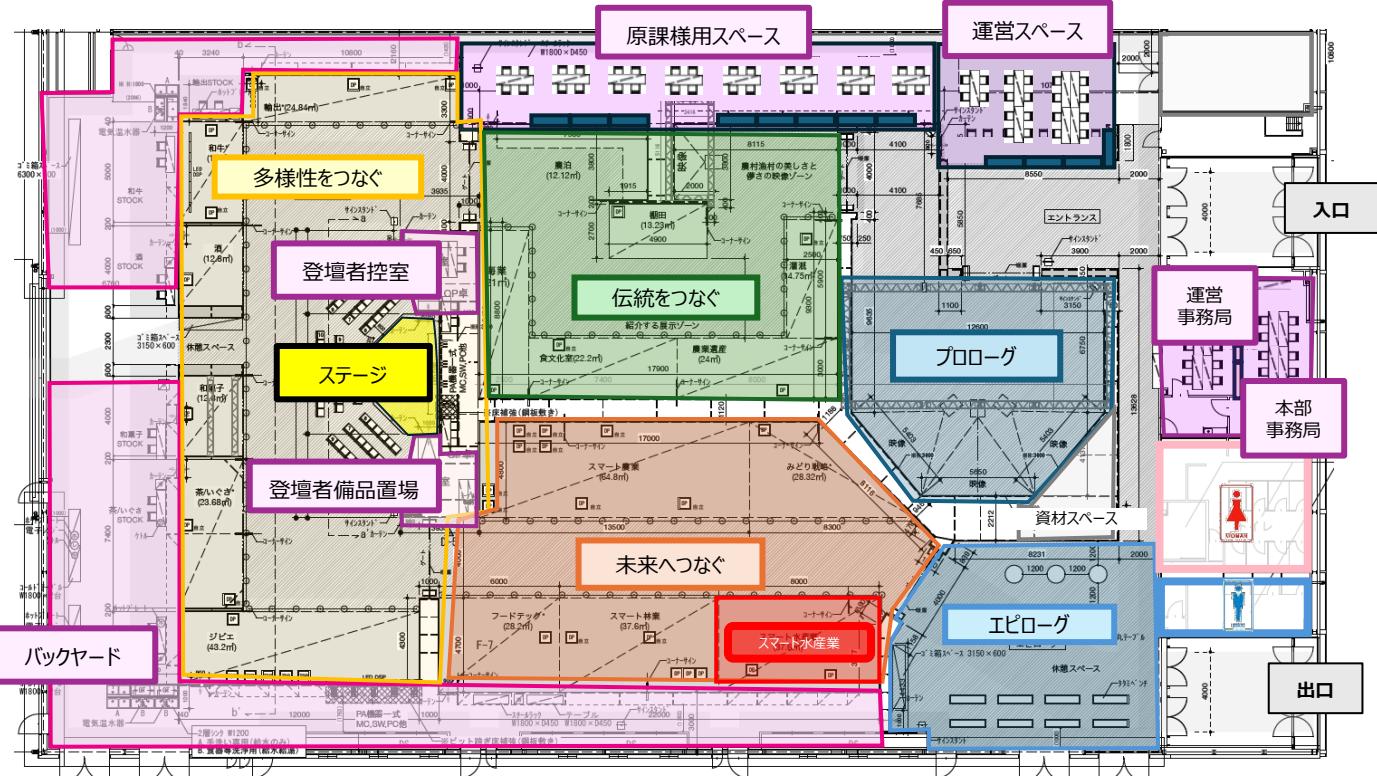
各ルート	所要時間
関係者東ゲート↔EXPO WASSE	歩にて約17分
関係者西ゲート↔EXPO WASSE	歩にて約5分
関係者東ゲート↔ポップアップステージ西	歩にて約15分
関係者西ゲート↔ポップアップステージ西	歩にて約3分
ポップアップステージ西↔EXPO WASSE	歩にて約2分

会場構成_①

会場全体イメージ



会場ゾーニング

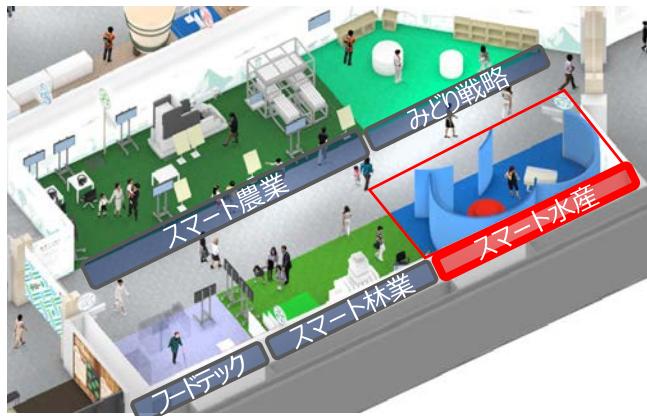


※「つなぐ」というコンセプトの下、日本の食・農林水産業の魅力を発信するため、農林水産省・国税庁・文化庁の14以上
の部局が、メッセ会場内を3つのエリアに分けて展示。

会場構成_②

未来へつなぐエリア

日本の食を支える農林水産業それぞれの強み、課題、未来に繋げていくための取り組みを紹介する「未来へつなぐ」エリア

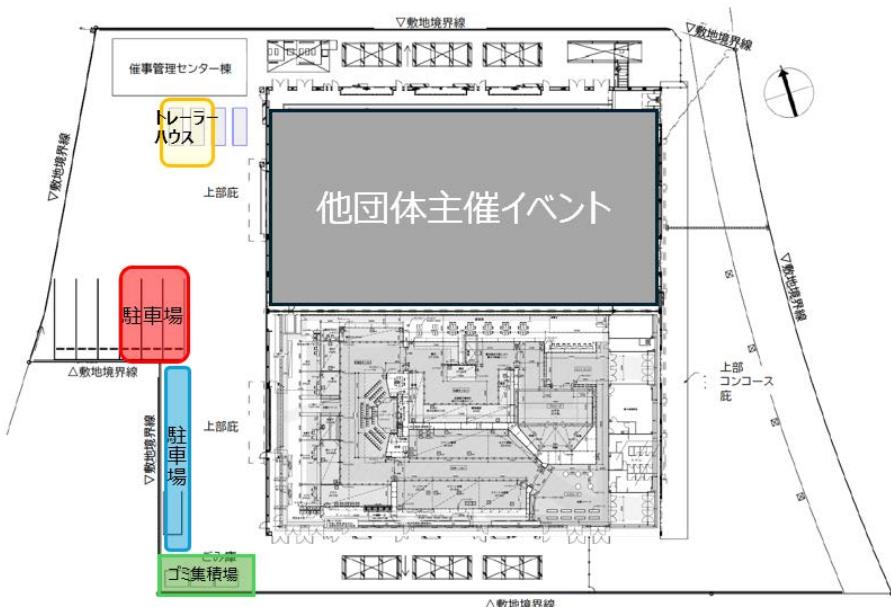


参加ブース

Food Tech	農林水産省 新事業・国際グループ
Green Strategy	農林水産省 環境バイオマス政策課 みどりの食料システム戦略グループ
Smart Agriculture	農研機構 みどり戦略・スマート農業推進室
Smart Forestry	林野庁 研究指導課 技術開発推進室
Smart Water	水産庁 研究指導課 海洋技術室

屋外エリア

バックヤードの屋外には、駐車場、ゴミ集積場、トレーラーハウスがあり、
トレーラーハウスは、ステージ登壇者・VIP用。



参考) 実施時期における他団体主催イベント

タイトル	実施者	実施場所	日付 (6月)									
			6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
RELAY THE FOOD～未来につなぐ食と風土～	農林水産省	EXPO WASSE South										
日本の魅力まるごと体感inEXPO （「大地と雪の恩恵」、「ふくの国、山口」）	新潟県、山口県	EXPO WASSE North										
白と黒の伝統 書と図碁の世界	毎日新聞社	EXPO WASSE North										

会場アクセス

関係者東ゲート入場経路



関係者西ゲート入場経路

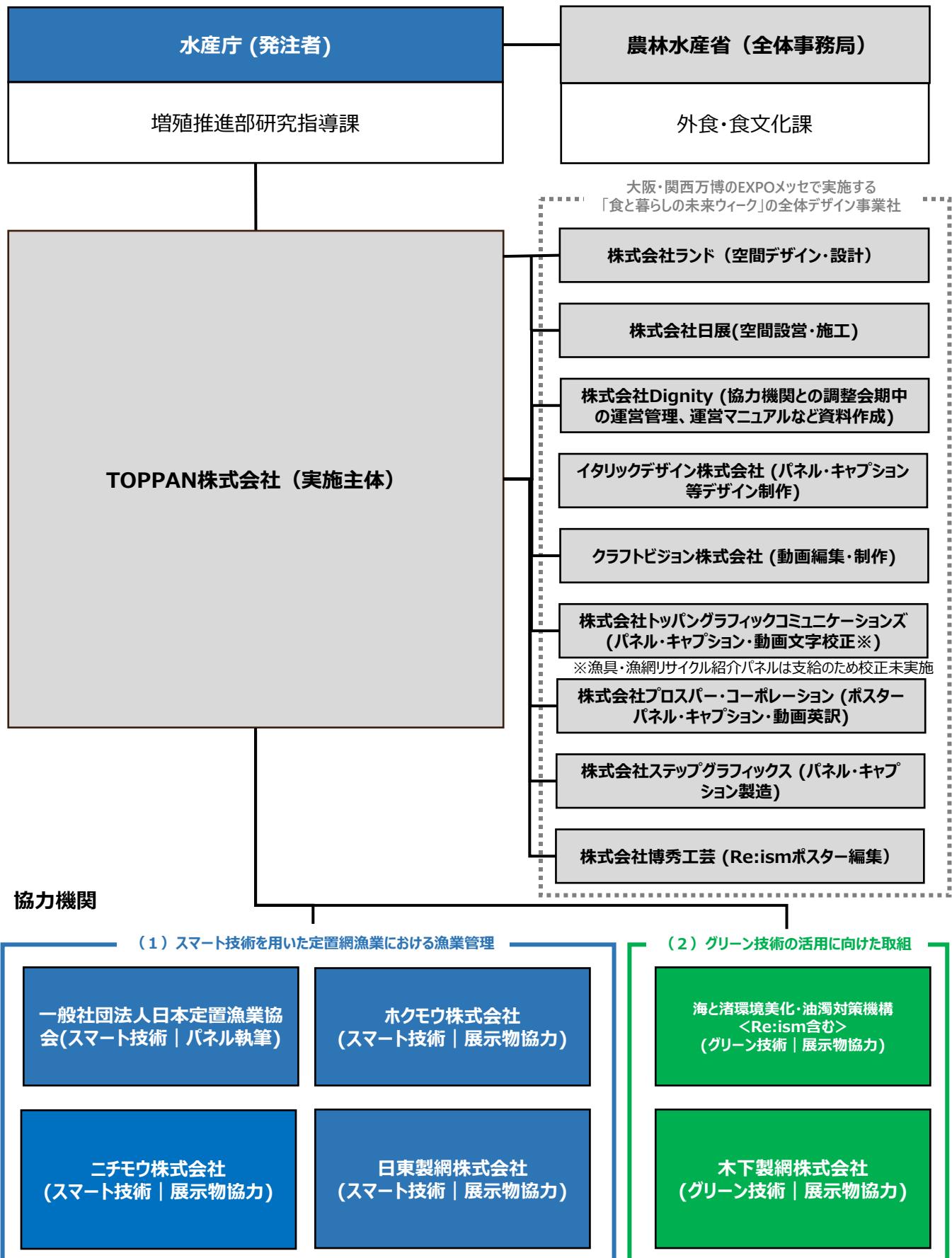


出展原課一覧

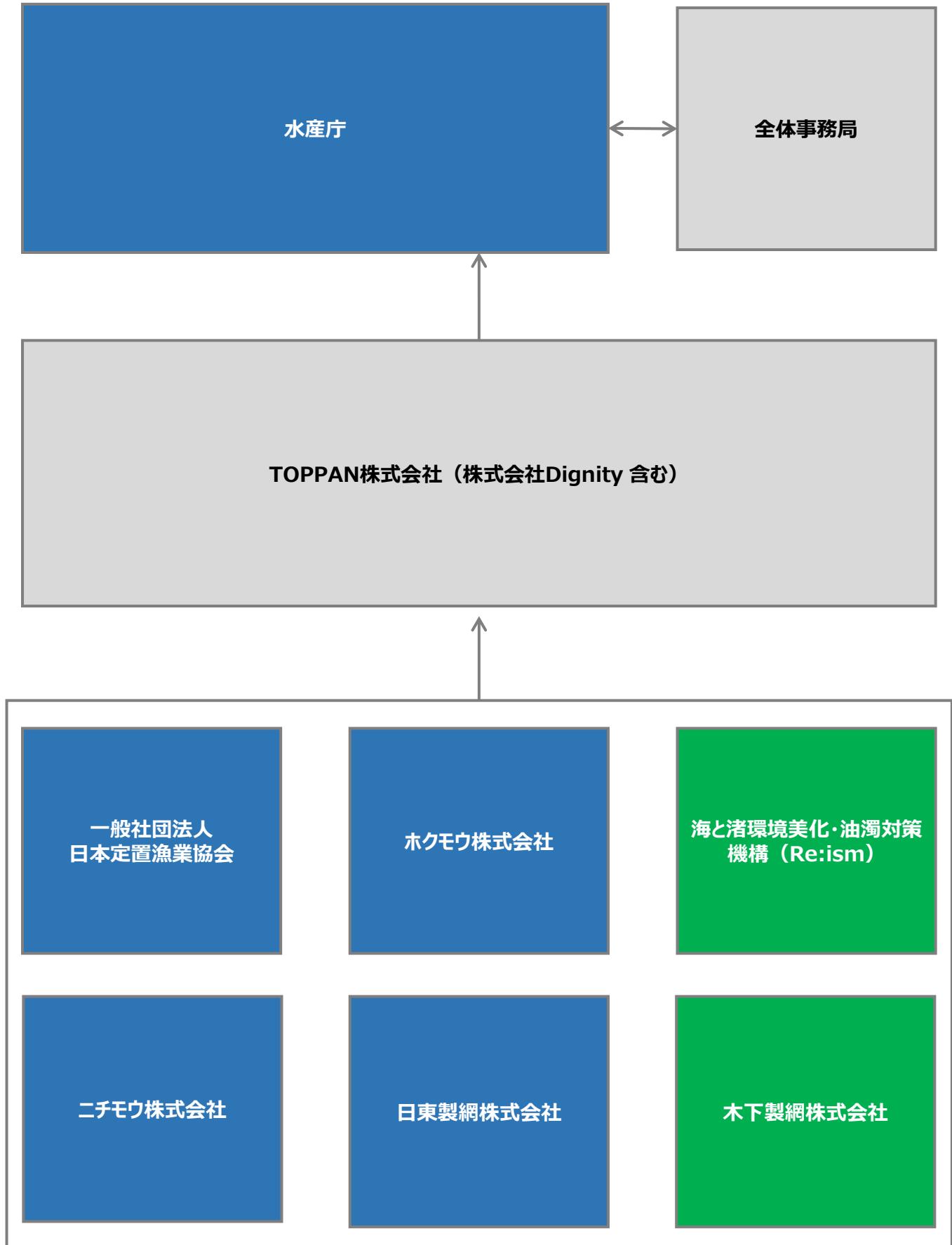
エリア	出展ブース番号	テーマ	関連出展者	個別ブース出展	ステージ出展	ポップアップステージ西出展
		全体事務局	新事業・食品産業部 食文化室 (委託託業者: TOPPAN株式会社)			
伝統をつなぐ	1	かんがい	農村振興局 設計課	○		
	2	農業遺産	農村振興局 鳥獣対策・農村環境課	○	○	○
	3	棚田	農村振興局 地域振興課	○	○	
	4	日本の食文化	新事業・食品産業部 外食・食文化課	○	○	○
	5	海業	水産庁 計画・海業政策課	○		
	6	農泊	農村振興局 都市農村交流課	○		
多様性をつなぐ	7	輸出	輸出・国際局 輸出企画課	○	○	
	8	和牛	畜産局 食肉鶏卵課	○	○	
	9	日本産酒類	国税庁 輸出促進室	○	○	
	10	和菓子	文化庁 生活文化連携担当	○		
	11	お茶	農産局 果樹・茶グループ	○	○	
	12	いぐさ	農産局 果樹・茶グループ	○		
	13	ジビエ	農村振興局 鳥獣対策・農村環境課	○	○	
未来をつなぐ	14	フードテック	新事業・食品産業部 新事業・国際グループ	○	○	
	15	スマート農業	農林水産技術会議事務局 研究推進課	○		
	16	スマート林業	林野庁 研究指導課	○		
	17	みどり戦略	大臣官房 環境バイオマス政策課	○		
	18	スマート水産業	水産庁 研究指導課	○		
ステージ	JAS	新事業・食品産業部 食品製造課			○	
	おいしい日本届け隊	輸出・国際局 輸出支援課		○	○	
	水産物消費拡大	水産庁 加工流通課	○ ※海業			○
	関西食の「わ」	近畿農政局 食品企業課		○	○	
	お酒・水産物	経済産業省 福島復興グループ		○		

実施運営体制_①

体制図



連絡系統図





(1) スマート×グリーン技術の実証(水産業)ブース展示計画(展示デザイン含)の作成

スマート水産業ブース全体概要

スマート水産業ブース 概要_①

ブース概要



<ZONE 1：スマート×グリーン技術で未来につなごう日本の伝統漁業～定置網～>

導入スペースとして、本ブース展示の概要を展示パネルにて訴求。日々の食卓を支える日本の水産業を未来へ繋いでいくための取組や、展示装飾でのリサイクル漁網についてなどブース内の概要を紹介。

<ZONE 2：定置網漁業の歴史>

水産資源の管理と定置網漁業について訴求。伝統漁業の一つである定置網漁業について、今までの歴史、漁獲に占める割合、定置網漁業の全国展開、現状の課題など日本国内での水産業における重要性などについて理解を深めてもらう。

<ZONE 3：漁業でのスマート技術の活用について>

資源管理に役立つスマート水産技術について訴求。近年、水産資源の持続的な利用にあたり「量的な資源管理」が強化され、スマート技術などが開発・活用されることで、漁獲量管理が難しいといわれていた定置網漁業でも、資源管理の実現性が期待されている。これらの現状をパネル・映像・実機を組み合わせて紹介することで、現場への普及を促進するとともに、国内外からの来場者に対して日本国内の水産業のイメージ向上を図る。

<ZONE 4：グリーン技術の活用に向けた取組>

環境に優しい漁網のリサイクルについて訴求。使い終わった漁網を集めてリサイクルすることで、海に流れ出るプラスチックごみを減らし、限りある資源を大切に使うことを目指した取組を紹介。

スマート水産業ブース構成_③

エリア分け

- ・テーマに沿ってZONEを4つに区切り、来場者がテーマ浸透できる展示設計
- ・水産業におけるスマート技術やグリーン技術について、ZONE2~4へ歴史の変遷をたどる導線設計
- ・中央の模型や実機は、より多くの方々が鑑賞しやすいよう360度展示配置
- ・パネル展示類は全て壁面を活用し、導線幅を十分確保
- ・メイン通路沿いに、ブース概要説明パネル(ZONE1)を設置し、数多くのブースの中で、本ブースがどのようなブースか、道行く人へ本ブース内への来訪を促すパネルを配置



ZONE1 スマート水産業ブース概要

導入として、本ブース展示の概要を展示パネルにて訴求。ブース装飾にはリサイクル定置網を活用していることなども紹介。道行く人へ本ブース内への来訪を促す。



ZONE2 定置網漁業の歴史

日本の食文化を支える重要な漁業である定置網漁業について、概要・歴史～全国漁業分布や漁獲量などの管理と課題について、パネルや模型・操業映像用いて紹介。



ZONE4 グリーン技術の活用に向けた取組

近年の海洋環境問題に対して対する水産業の取組として環境配慮型(生分解性)漁具の開発や、漁具のリサイクルの取組をパネル・実物展示・ノベルティにて紹介。



ZONE3 漁業でのスマート技術の活用について

定置網漁業にICT、IoT、AIなどの先端技術を活用することで、水産資源の持続的な利用を実現していること等、パネル・実機・映像を用いて紹介。



(2) グリーン技術の活用に向けた取組

(1) スマート技術を用いた定置網漁業における漁業管理

スマート水産業ブース 概要_②

ブース構成要素



① 専門的な知見や技術を有する協力機関による技術展示

協力事業者による展示を行った。展示内容等は本事業の目的に沿うよう、各社と貴庁と調整を行い展示。



② モニター設置・映像放映

パネルなど静止画だけでは伝わり切らない内容を、動画を作成・放映し情報補填を行った。



③ 全体デザイン

「スマート×グリーン技術の実証(水産業)」というテーマを展示物だけでなく、空間全体からも体感できるデザインとし、興味のきっかけづくりを行った。



④ 展示パネル設置

情報を詰め込み過ぎず、写真・説明文・特徴など文字だけにならないよう要素を絞り、レイアウトも統一することでわかりやすく見やすいパネル展示を行った。



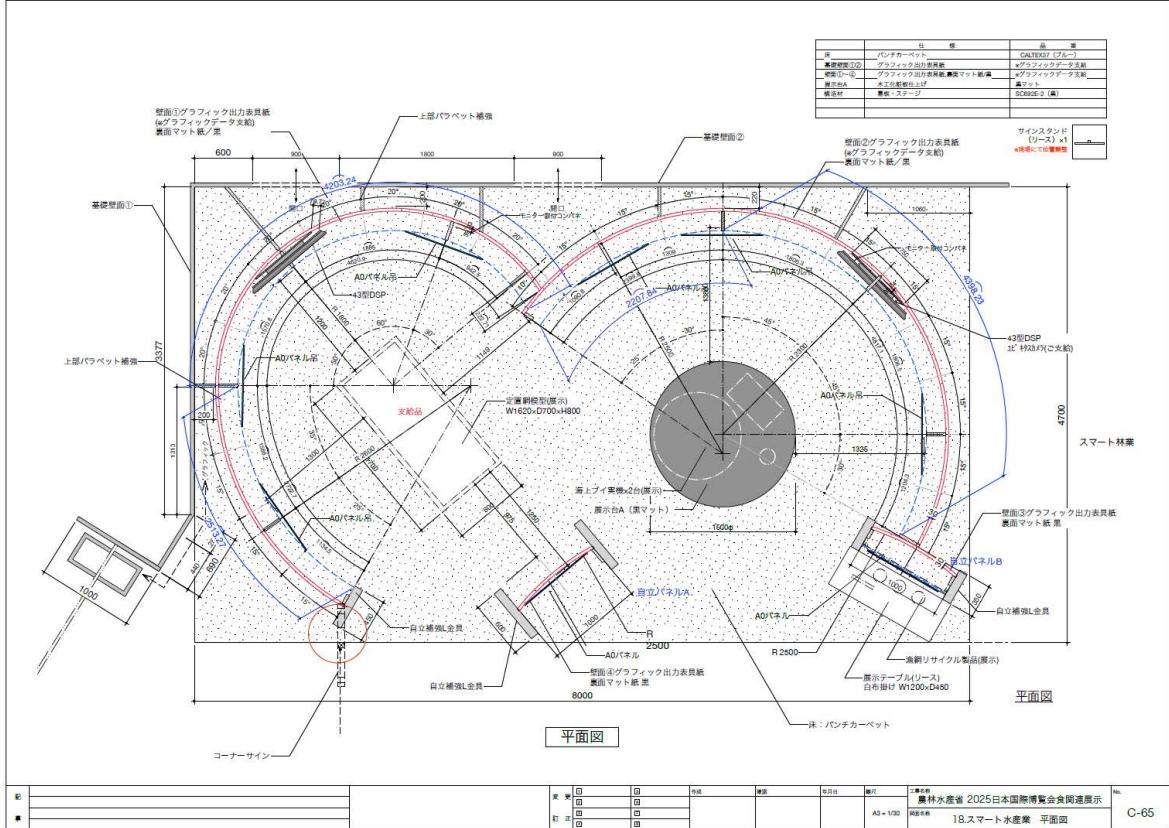
⑤ キャプション設置

パネルだけでなく、実物展示にはキャプションを近くに配置させ、来場者目線での展示の工夫を行った。

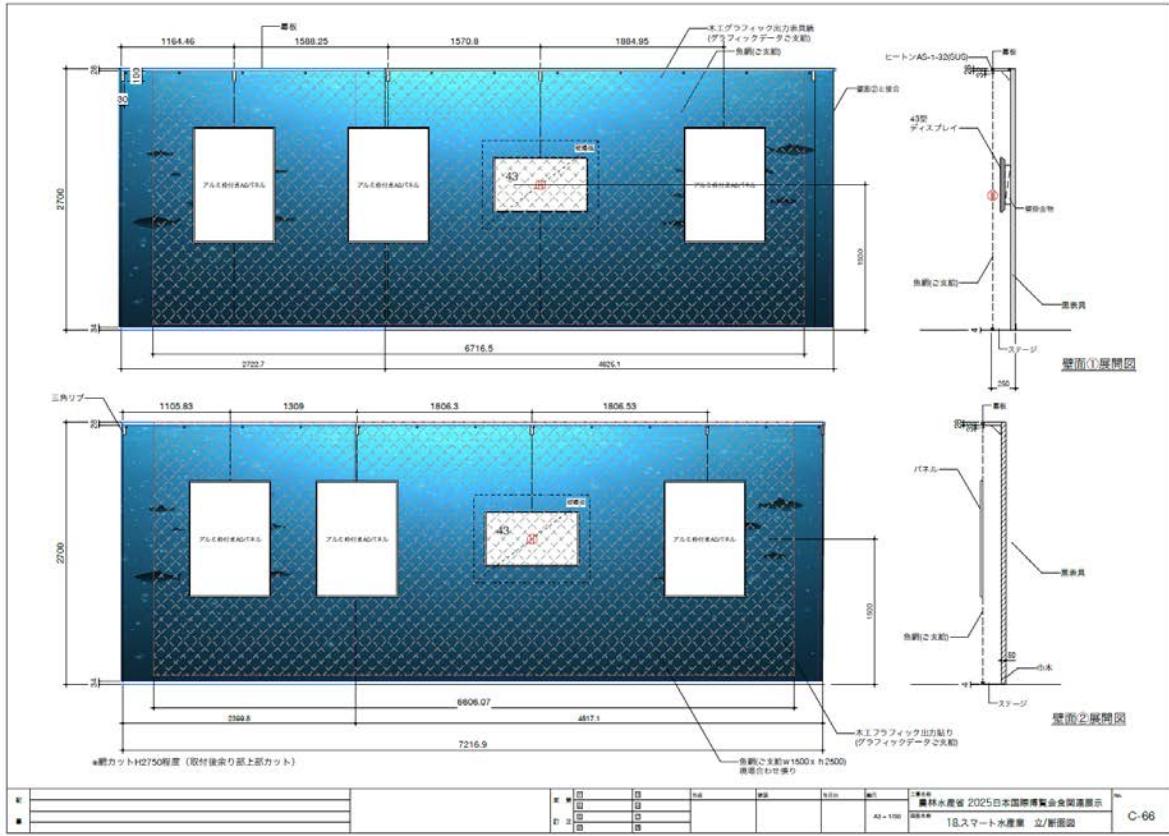


（1）スマート×グリーン技術の実証(水産業)ブース展示計画（展示デザイン含）の作成 スマート水産業ブース構成_①

平面図

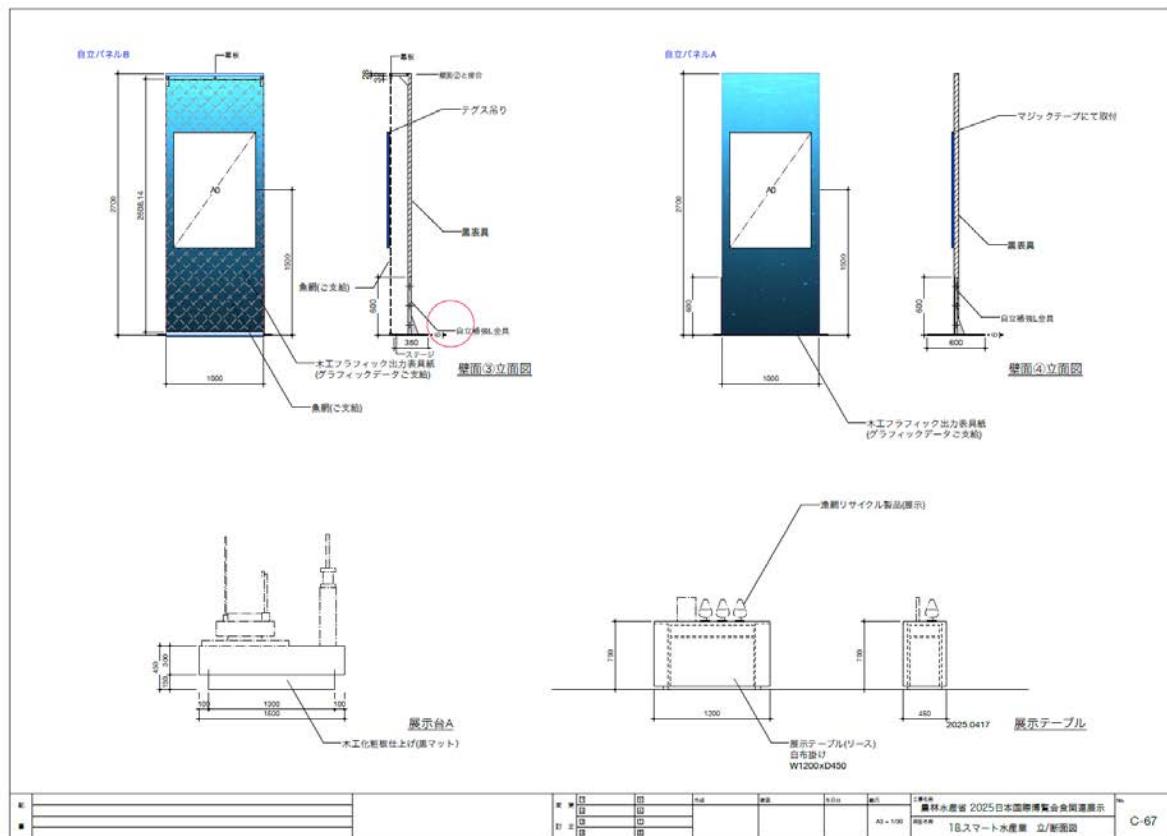


壁面立面図

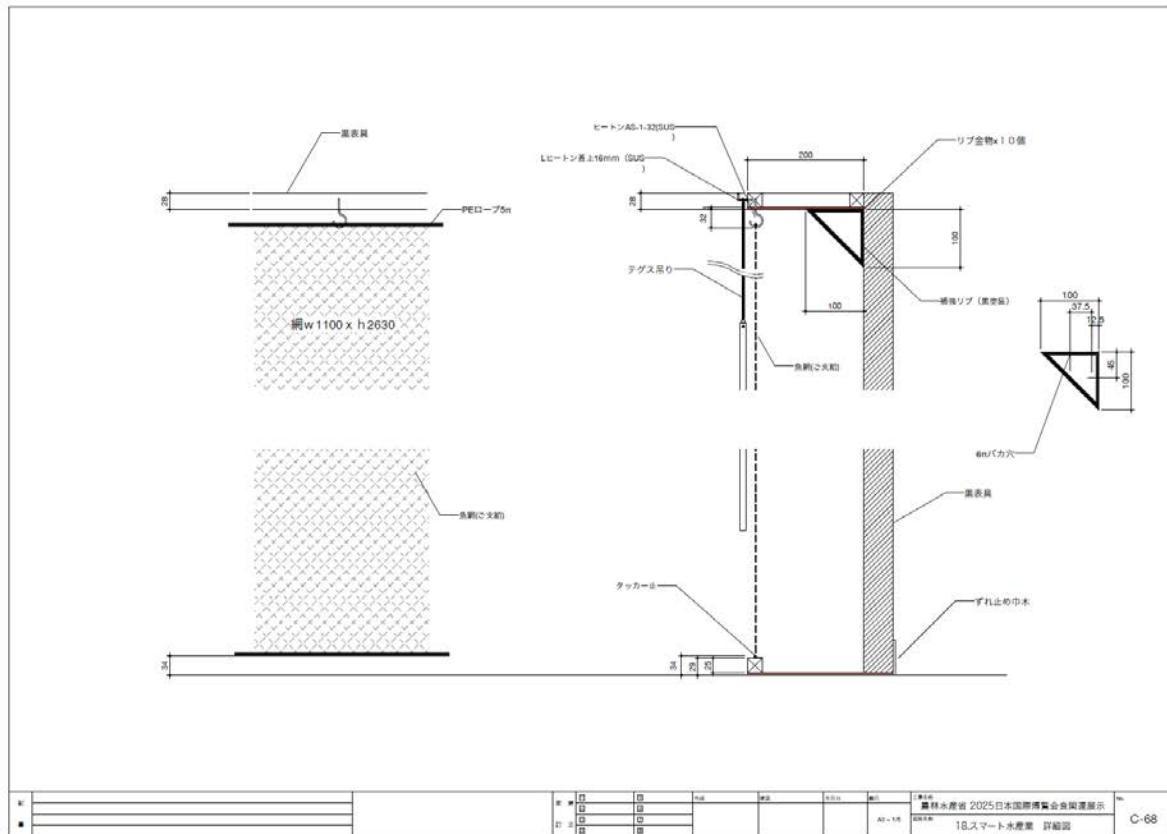


スマート水産業ブース 構成_②

自立パネル・展示台 立面図

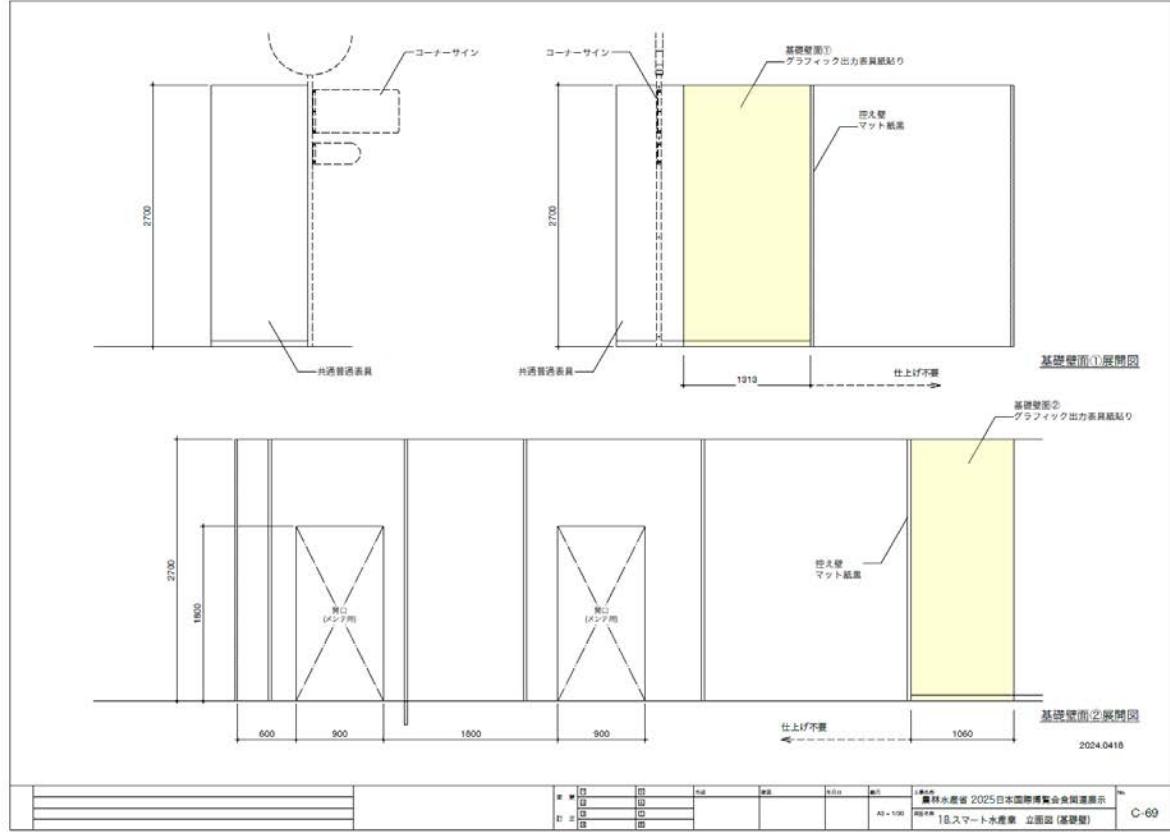


壁面網貼り計画図

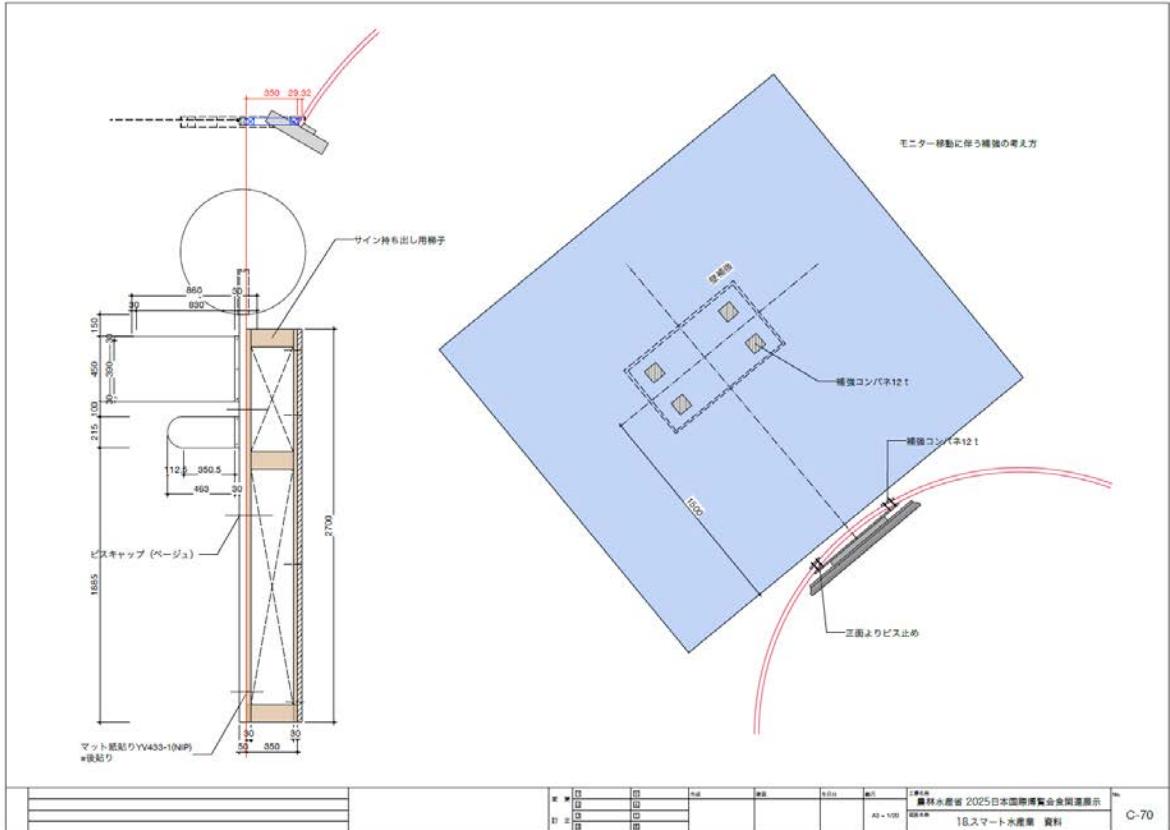


スマート水産業ブース 構成_③

ブース区画壁面図

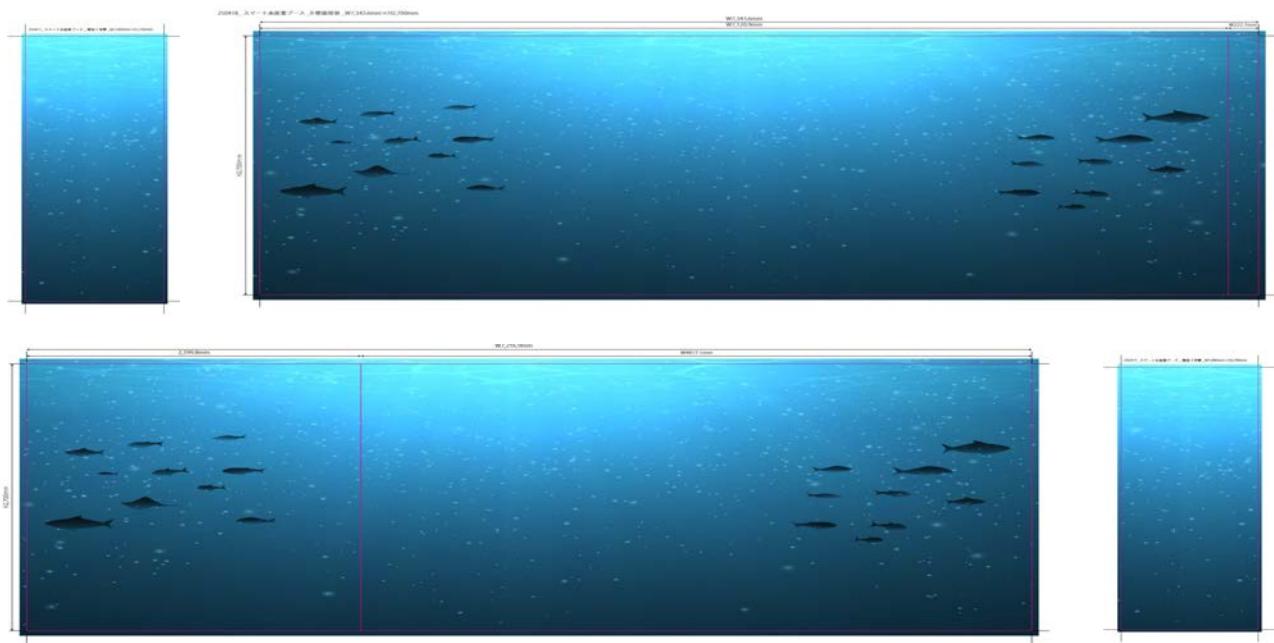


サイン及び機材補強設計図



スマート水産業ブース 構成_④

壁面デザイン



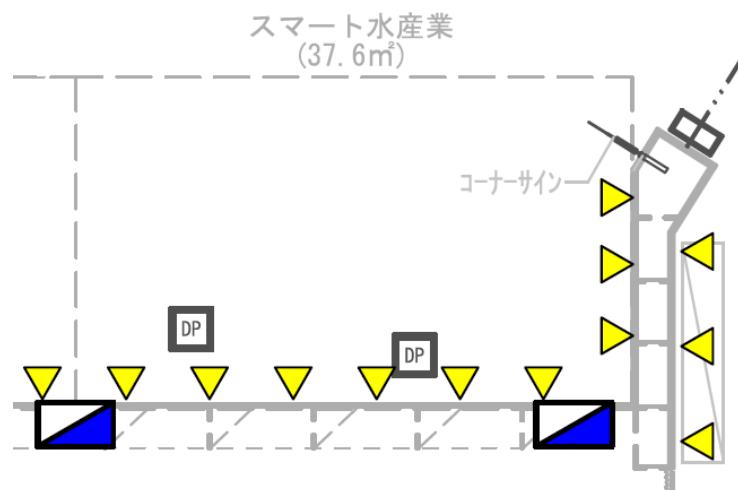
エリア壁面



・床面カーペット色 全体図面



照明配置図



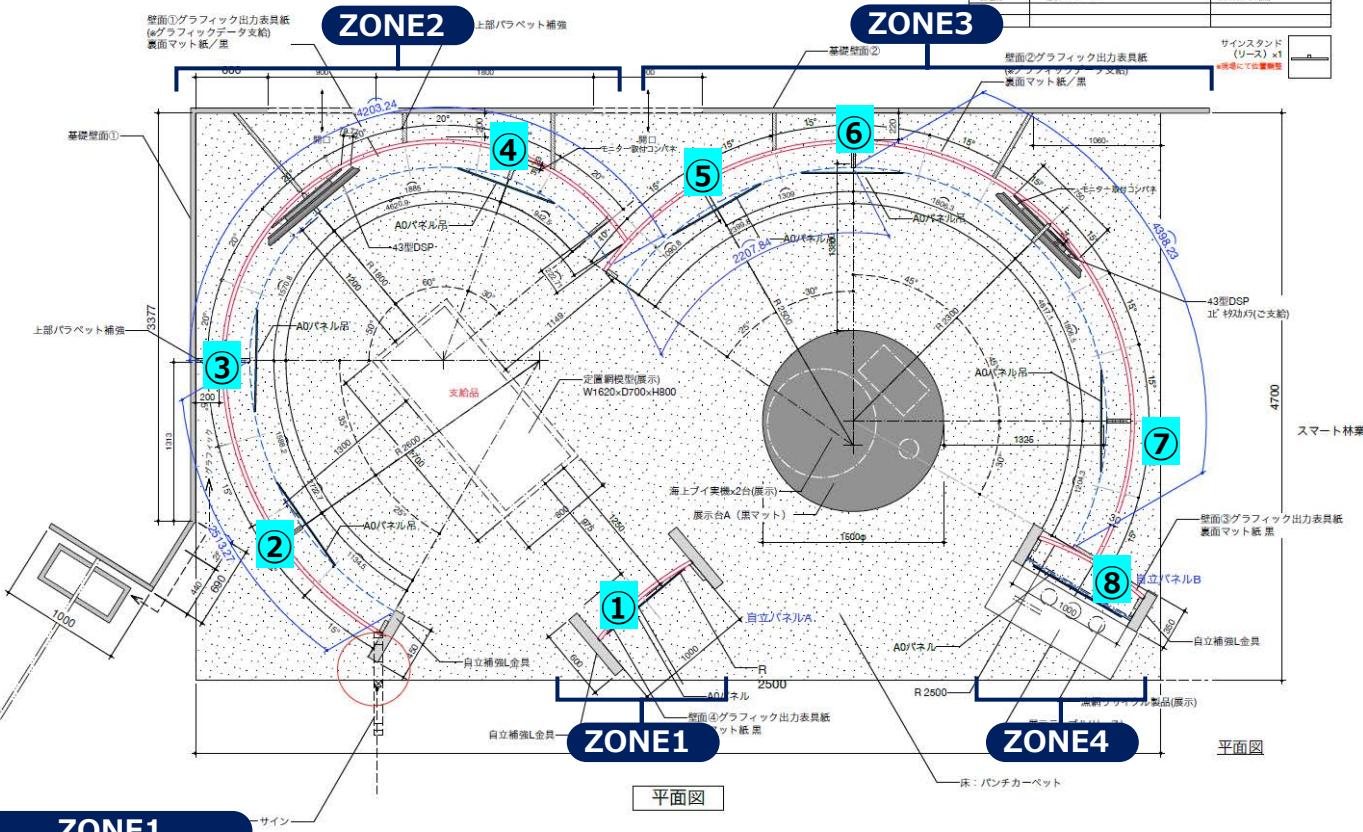


(1) スマート×グリーン技術の実証(水産業)ブース展示計画(展示デザイン含)の作成

パネル・キャプション関連

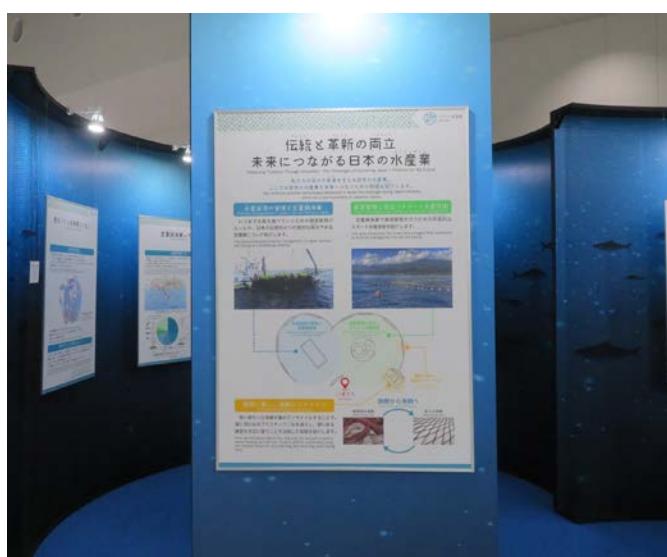
パネル関連_①

パネル配置図



ZONE1

ブース説明パネル：A0サイズ



【共有事項 (ZONE1)】

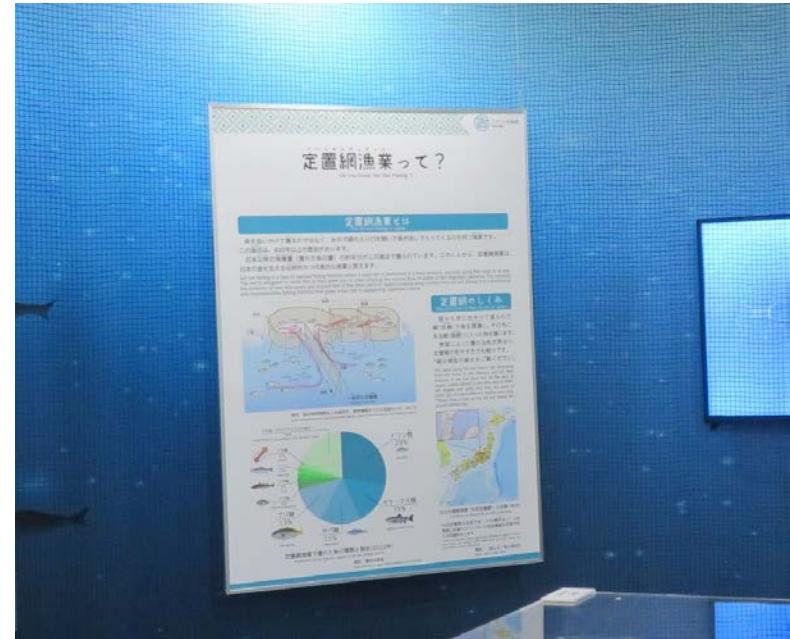
- ・展示パネル（原稿）日本定置漁業協会様執筆（画像素材）各所取り寄せを実施。
 - ・展示パネルデザインはイタリックデザイン株式会社、文字校正はトップグラフィックスコミュニケーションズ、翻訳は株式会社プロスパー・コーポレーション、製造は株式会社ステップグラフィックスに外注を実施。
 - ・TOPPANは進行管理、各機関との調整、現場施工立会いを実施。

ZONE2

「食のバトンを未来につなぐ」パネル：A0サイズ



「定置漁業って？」パネル：A0サイズ



パネル関連_③

ZONE2

「定置網漁業での資源管理」パネル：A0サイズ



【共有事項（ZONE2）】

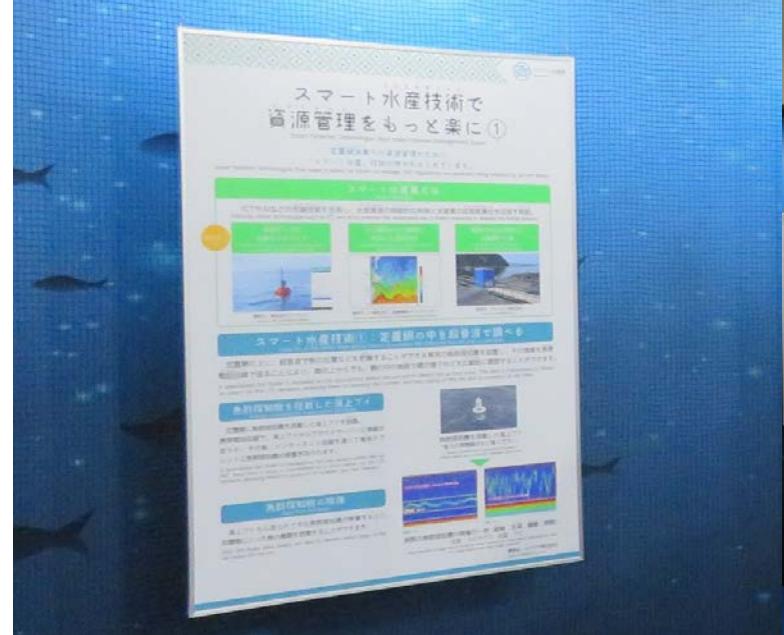
- ・展示パネル（原稿）日本定置漁業協会様執筆（画像素材）各所取り寄せを実施。
- ・展示パネルデザインはイタリックデザイン株式会社、文字校正はトッパングラフィックスコミュニケーションズ、翻訳は株式会社プロスパー、コーポレーション、製造は株式会社ステップグラフィックスに外注を実施。
- ・TOPPANは進行管理、各機関との調整。現場施工立会いを実施。

パネル関連_④

ZONE3

「スマート水産業①」パネル：AOサイズ

⑤



「スマート水産業②」パネル：AOサイズ

⑥



パネル関連_⑤

ZONE3

「漁網のリサイクル紹介」パネル：A0サイズ

⑦



ZONE4

「漁具・漁網リサイクル紹介」パネル：A0サイズ

⑧

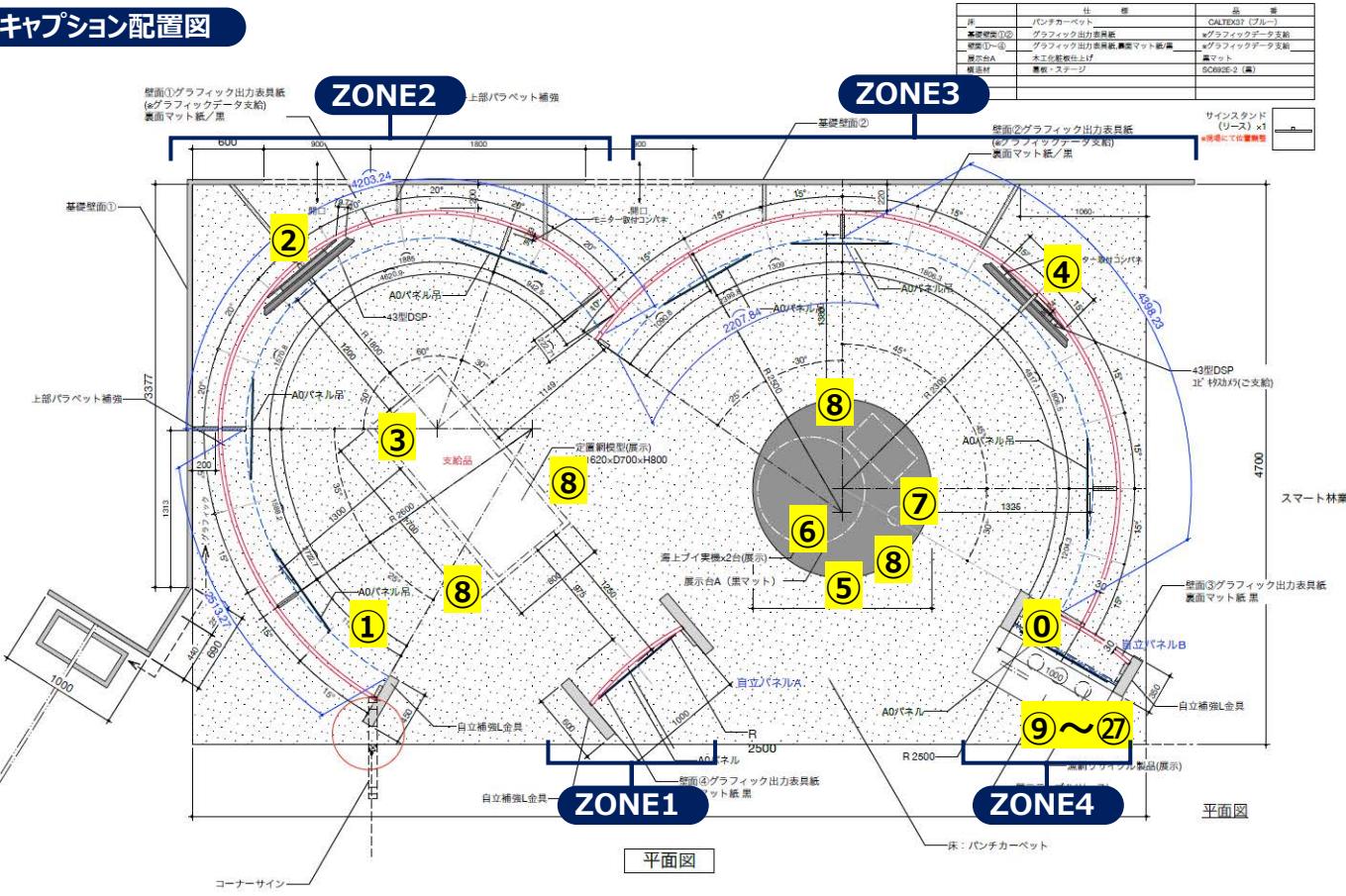


【共有事項（ZONE3,4）】

- ・展示パネル（原稿）日本定置漁業協会様執筆（画像素材）各所取り寄せを実施。
- ・展示パネルデザインはイタリックデザイン株式会社、文字校正はトッパングラフィックスコミュニケーションズ（⑦のみ）、翻訳は株式会社プロスパー、コーポレーション、製造は株式会社ステップグラフィックスに外注を実施。
- ・TOPPANは進行管理、各機関との調整、現場施工立会いを実施。

(1) スマート×グリーン技術の実証(水産業) ブース展示計画 (展示デザイン含) の作成
キャプション関連_①

キャプション配置図



ZONE2

220mm×120mm

① 展示装飾には、リサイクル定置網漁網を活用しております。

This exhibition is made from used fishing nets through a recycling process.
This type of nets are actually used in set net fishing.

提供:木下製網株式会社
Provided by Kinoshita Fishing Net Mfg. Co., Ltd.

220mm×120mm

② 定置網漁業の様子
Scenes of set net fishing

提供:日東製網株式会社
Provided by NITTO SEIMO CO., LTD.

120mm×70mm

③ 定置網の模型
A set net model

提供:日東製網株式会社
Provided by NITTO SEIMO CO., LTD.

150mm×150mm



お手を触れないでください
don't touch me



【共有事項】

- キャプションデザインはイタリックデザイン株式会社、文字校正はトッパングラフィックスコミュニケーションズ、翻訳は株式会社プロスパー・コーポレーション、製造は株式会社ステップグラフィックスに外注を実施。
- TOPPANは進行管理、各機関との調整。現場施工立会いを実施。

ZONE3

④

220mm×120mm



⑤

200mm×200mm



⑥

200mm×200mm



⑦

200mm×200mm



⑧

150mm×150mm



お手を触れないでください
don't touch me



【共有事項】

- キャプションデザインはイタリックデザイン株式会社、文字校正はトッパングラフィックスコミュニケーションズ、翻訳は株式会社プロスパー・コーポレーション、製造は株式会社ステップグラフィックスに外注を実施。
- TOPPANは進行管理、各機関との調整。現場施工立会いを実施。

ZONE4

150mm×150mm

①



※⑨～⑩のキャプションサイズは全て100mm×50mm

⑨

ケミカルリサイクルペレット
Chemical recycling pellets

⑩

マテリアルリサイクルペレット
Material recycling pellets

⑪

アスファルト改質剤
Asphalt modifier

⑫

サングラス
Sunglasses

⑬

軍手
Work gloves

⑭

アスファルト
Asphalt

⑮

ゴミ袋
Trash bag

⑯

RPF (固体燃料)
RPF (solid fuel)

⑯

アスファルト
Asphalt

⑯

小物入れ
Accessory case

⑯

プレート
Plate

⑯

アスファルト
Asphalt

㉑

肩掛けポーチ
Shoulder pouch

㉑

ネックストラップ
Neck strap

㉑

アスファルト
Asphalt

㉔

帽子
Hat

㉔

PET 漁網を利用したマテリアルリサイクル品
Material recycled products using PET fishing net

㉔

アスファルト
Asphalt

㉗

PET ペレットを利用したケミカルリサイクル品
Chemical recycled products using PET pellets

㉗

漁網リサイクルクリアファイル
ご自由にお持ちください！
(お一人様 1 枚まで)
File folder made from used fishing nets
Feel free to take one! (One per person, please)
提供: ニチモウ株式会社
Provided by NICHIMO CO.,LTD.

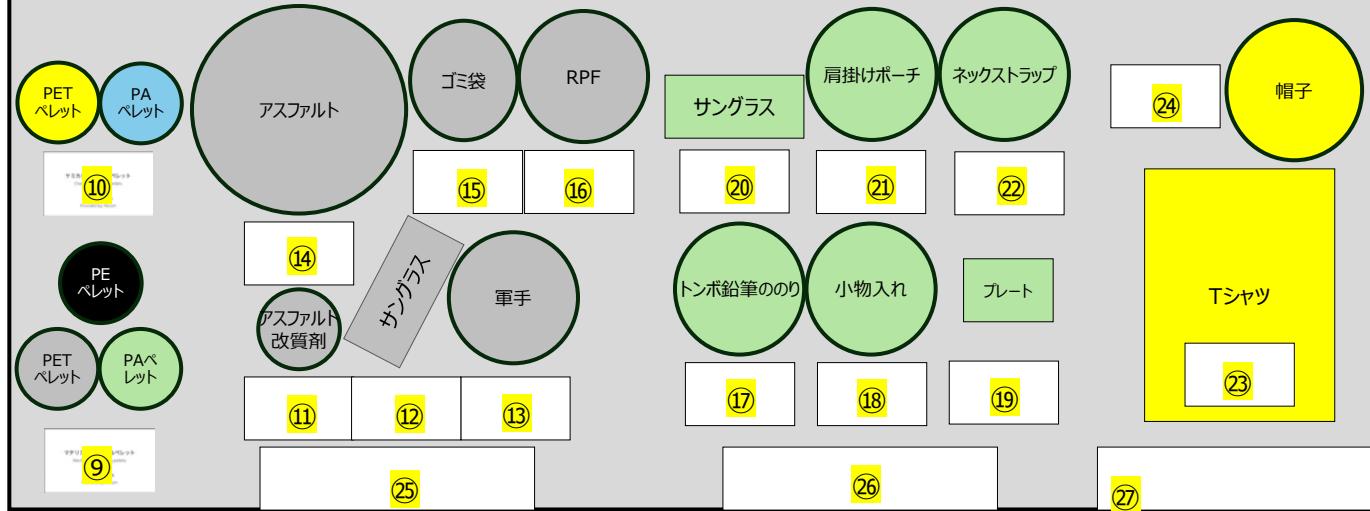
㉗

アスファルト
Asphalt

ZONE4

⑨～㉙のキャプションは、事前に以下レイアウトで設置を予定していたが、現場でレイアウトは毎日調整

■事前のレイアウト図



■現場でのレイアウト写真



※㉙キャプションとクリアファイルの置き場所は現場調整

←クリアファイルは手配りとし、キャプションは保管用トレイに貼付け

【共有事項】

- 各展示品の借用先は前頁キャプション内に記載の通り。
- クリアファイル（3万部）：ニチモウ様にて新規製作の上配布。
- ステッカー（150枚）：海と渚環境美化・油濁対策機構<Re:ism>より支給頂き配布
⇒海と渚環境美化・油濁対策機構<Re:ism>の持込。ステッカー配布にあたり着用ブルゾンを製作
- キャプションデザインはイタリックデザイン株式会社、文字校正はトップグラフィックスコミュニケーションズ、翻訳は株式会社プロスパー・コーポレーション、製造は株式会社ステップグラフィックスに外注を実施。
- TOPPANは進行管理、各機関との調整。現場施工立会いを実施。

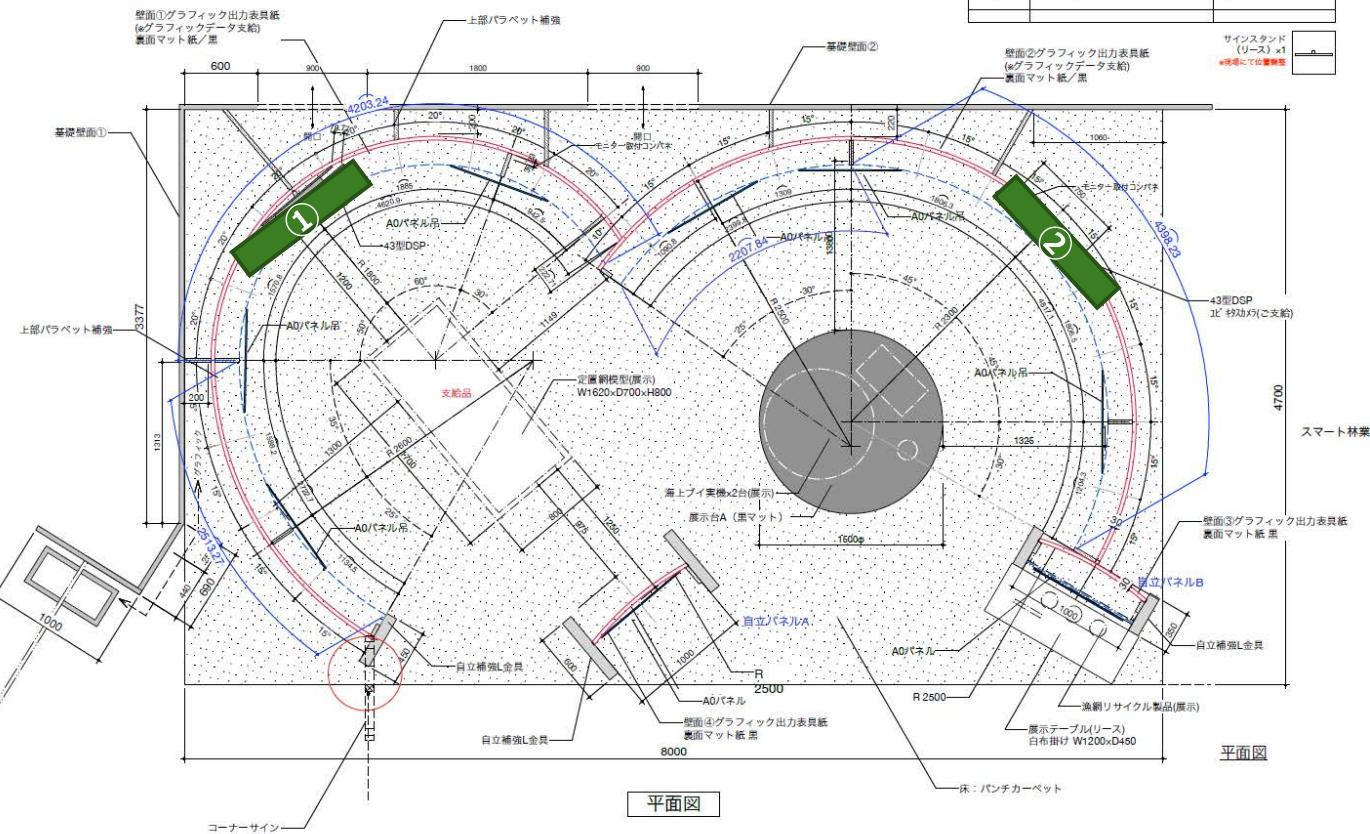


(1) スマート×グリーン技術の実証(水産業) ブース展示計画 (展示デザイン含) の作成

映像関連

映像関連

モニター配置図



放映内容

映像放映①

操業映像の放映

定置網は地域や漁獲する魚、経営方針などにより操業期間が決められており、その操業を行う様子をわかりやすく映像にて紹介。（日東製網様より借用し一部クラフトビジョンにて編集）



対応するキャプション

定置網漁業の様子
Scenes of set net fishing

提供：日東製網株式会社
Provided by NITTO SEIMO CO., LTD.

②

映像放映②

水中カメラ映像

定置網の資源管理に向けた別アプローチとして網内の様子を見たいときに、タブレット上で入網状況を映像として確認することができるシステムの映像を紹介。（クラフトビジョンにて編集）



対応するキャプション

定置網用の遠隔式水中カメラ映像
Remote-Controlled underwater camera Video

提供：日東製網株式会社
Provided by NITTO SEIMO CO., LTD.

④

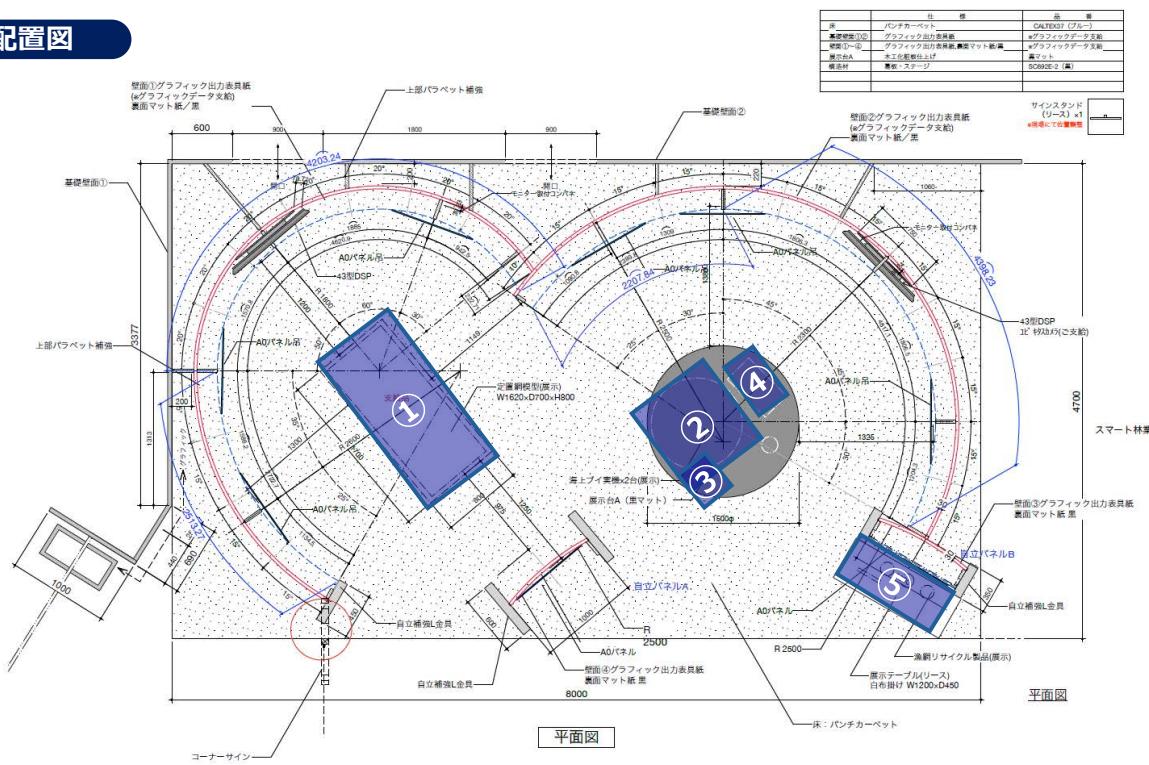


(1) スマート×グリーン技術の実証(水産業) ブース展示計画 (展示デザイン含) の作成

実物展示関連

实物展示関連 ①

展示品配置図



展示內容

実機展示①

定置網のミニチュア模型 提供：日東製網



実機展示②

ユビキタス魚探(海上ブイ・魚探・ケーブル) 提供：日東製網



実機展示③

水中カメラ 提供：日東製網



実機展示④

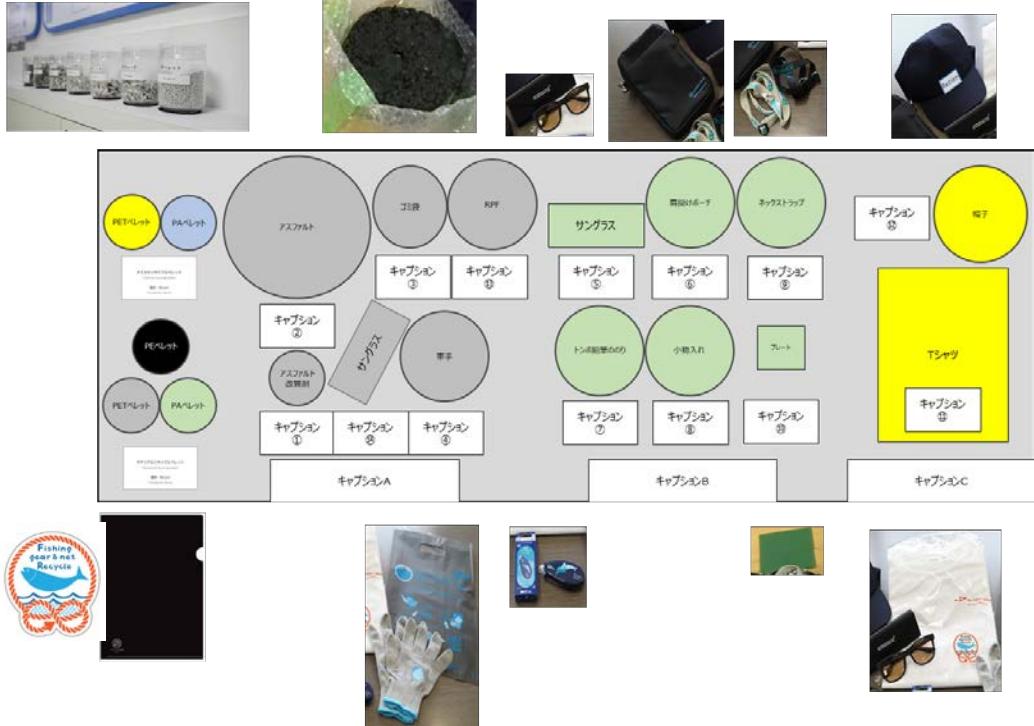
魚っちV
提供：ホクモウ



実物展示関連_②

展示⑤

漁網リサイクル品一式



区分	製品名	提供元	備考
1ペレット	PET(ペット)	マテリアルリサイクル	山一株式会社 使用済み旋網から再生
2ペレット	PA(ナイロン)	マテリアルリサイクル	リファインバース株式会社 使用済み刺し網から再生
3ペレット	PE(ポリエチレン)	マテリアルリサイクル	NPO法人木野環境 主に宇和島の漂着ブイを用い廃漁網、愛媛県伊方町の漂着カキパイプ、琵琶湖の湖岸清掃ごみ、長崎県五島市の漂着ごみ、静岡県掛川市の海岸清掃ごみから再生
4ペレット	PET	ケミカルリサイクル	帝人フロンティア株式会社 マテリアルリサイクルペレットから再生PET
5ペレット	PA	ケミカルリサイクル	東レ株式会社 マテリアルリサイクルペレットから再生PA
1製品	PET	アスファルト改質剤	花王株式会社 宮城県で発生した使用済み漁網を原料に用いた、アスファルト改質剤
2製品	PET	アスファルト	日本道路株式会社 再生アスファルト混合物に、宮城県内等から発生した漁網を再利用した舗装改質材を添加したもの
3製品	PET	ゴミ袋	丸真化学工業株式会社 平戸市の海岸清掃用につかわれている海岸清掃用ごみ袋 混率10%
4製品	PET	軍手	山一株式会社 水族館協会の作業用手袋 混率10%
5製品	PA	サングラス	amu株式会社 フレームに気仙沼の遠洋マグロ船で使われていた漁具を使っています。混率60%
6製品	PA	肩掛けポーチ	リファインバース株式会社 本体の生地にリアミドを使用
7製品	PA	トンボ鉛筆のり	リファインバース株式会社 本体のイルカが描かれているカバー部分がリアミド（リサイクル素材）です
8製品	PA	小物入れ	リファインバース株式会社
9製品	PA	ネクストストラップ	リファインバース株式会社
10製品	PA	プレート	リファインバース株式会社 テーブル天板、内装に使用
11製品	PET	Tシャツ	マルハニチロ株式会社 ケミカルリサイクルPET使用 混率10%
12製品	PET	帽子	カイタックトレーディング株式会社 同上
13製品	PET	RPF	阪和興業株式会社 リサイクル困難な漁網を使った固形燃料
14製品	PET	サングラス	有限会社ウチダプラスチック 福井県鯖江市役所JK課とコラボで、ビーチクリーンペットボトルリサイクルを用いたサングラス

実物展示関連_③

サンプリングについて

クリアファイル・ステッカーの2種をRe:ismのリサイクル展示品エリア付近（ZONE4付近）でサンプリング

クリアファイル

納品数 : 30,000枚
1回目15,000枚は事前倉庫納品
2回目は6/8会場へ直接納品
配布方法 : 手配りで来場者へ



ステッカー

納品数 : 150枚（海と諸様 お持込み）
配布方法 : クリアファイルに入れて配布



備考

- ・漁網をリサイクルしてつくったクリアファイルを制作。**クリアファイルは期間中で約26,150枚を配布**
- ・ステッカーに関しては、150枚を1日で配布。



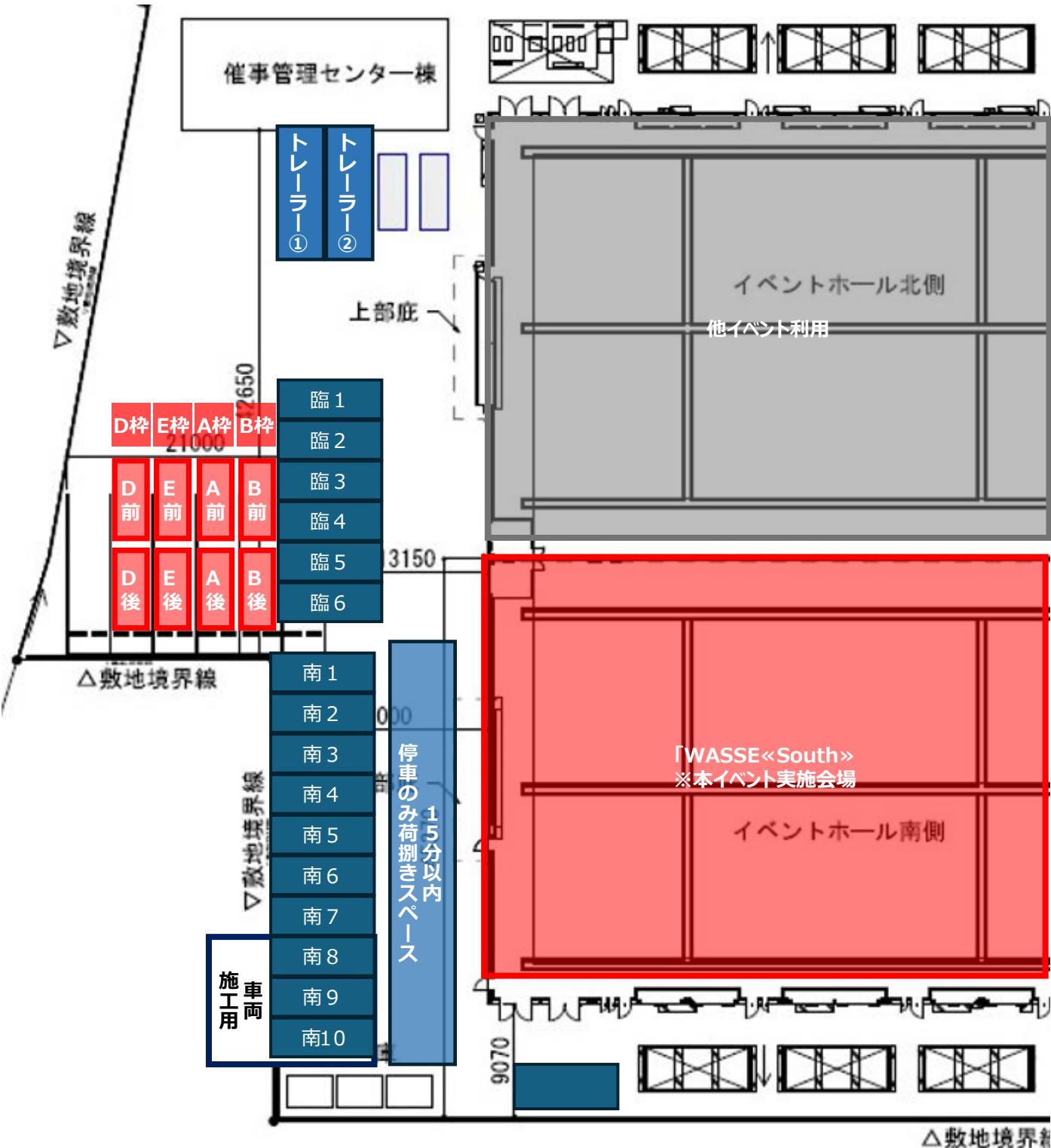
(2) 展示ブースの設営と運営管理および撤収
搬入出・設営撤去関連

搬入出全体スケジュール

TIME	施工日	施工日	オープン初日	本番日	本番最終日	撤収日
	6月6日(金)	6月7日(土)	6月8日(日)	6月9日(月)~ 14日(土)	6月15日(日)	6月16日(月)
0:00						
:30						
1:00						
8:00		会場全体 施工関係 ※各事業者 入館不可				
:30						
9:00			設営可能 時間			
:30			クリアファイル 第二便搬入			
10:00				9:45~開場準備		
:30		車両ゲート 進入可				
11:00		11:00~ 12:00 WASSE駐車場 利用可能時間				
:30			12:00~12:20 オープニングステージ 12:20~13:00 ブース視察			
12:00			13:00~ 一般入場開始			
:30				10:00~ 20:00 本番開始	10:00~ 20:00 本番開始	
13:00	会場全体 施工関係 ※各事業者 入館不可					会場全体 撤去関係
:30						※各事業者 入館不可
14:00						
:30						
15:00						
:30						
16:00						
:30						
17:00						
:30						
18:00						
:30						
19:00						
:30						
20:00						
0:00			20:00~クロース作業 21:00完全退館			20:00~撤去開始 22:00~23:00 WASSE駐車場 利用可能時間

駐車枠について

6月7日(土)11時からの各展示ブース搬入開始時における駐車場は以下の枠にて運営。



(2) 展示ブースの設営と運営管理および撤収

搬入・設営詳細

駐車可能時間

7日(土)11時以降の各ブース施工時の駐車場利用枠は、各事業者様へ以下の通りご案内した。

日東製網 : 11:00~12:00 B枠後

その他事業者 : 利用なし

時間	WASSE駐車場																
	E枠(10t)		A枠(10t)		B枠(10t)		臨1	臨2	臨3	臨4	臨5	臨6	南1	南2	南3	南4	南5
	前	後	前	後	前	後											
10:00																	
11:00	決)16 スマ林 10tユニック車	決)16 スマ林 4tトラック	決)16 スマ林 ワゴン・バン		決)18 スマ水 4tトラック						決)15 スマ農 4tトラック		決)15 スマ農 4tトラック	決)15 スマ農 2tトラック	決)16 スマ林 乗用車		
12:00																	
13:00	決)17 みどり戦 略 4tトラック	決)17 みどり戦 略 ワゴン・ バン	決)13 和牛 4tトラック	決)13 和牛 乗用車											決)12 いぐさ 2tトラック		
14:00					決)11 お茶 4tトラック	11決) お茶 2tトラック	11決) お茶 2tトラック	11決) お茶 ワゴン・ バン	11決) お茶 ワゴン・ バン	11決) お茶 ワゴン・ バン	11決) お茶 ワゴン・ バン	11決) お茶 ワゴン・ バン	11決) お茶 ワゴン・ バン	7決) 輸出 2tトラック	7決) 輸出 2tトラック	7決) 輸出 2tトラック	決)12 いぐさ 2tトラック
15:00	決)4 食文化 4tトラック		決)14 フードテック 4tトラック								決)14 フードテック 2tトラック	決)14 フードテック ワゴン・ バン	決)14 フードテック ワゴン・ バン	決)12 農業遺産 トラック		決)12 いぐさ 2tトラック	
16:00					決)1、2 かんがい 農業遺産 4t									決)1、2 かんがい 農業遺産 2t		決)12 いぐさ 2tトラック	
17:00	決)9 日本酒 4t													決)15 スマ農 2tトラック 再		決)12 いぐさ 2tトラック	
18:00					決)11 お茶 4tトラック	11決) お茶 2tトラック	11決) お茶 2tトラック	11決) お茶 ワゴン・ バン	11決) お茶 ワゴン・ バン	11決) お茶 ワゴン・ バン						決)12 いぐさ ワゴン・ バン	

搬入作業詳細

■ 日東製網

搬入作業

●搬入物 : ユビキタス魚探・定置網模型

●搬入車両 : 4t トラック

●運搬方法 : 以下の流れで運搬

- ①福山工場でパレット積載ビニール巻き(日東対応)
 - ②フォークリフトで日本通運トラックに積込(日東対応)
 - ③梱包補強対応(日本通運対応)
 - ④福山工場からWASSE会場へ運送(日本通運対応)
 - ⑤WASSE会場でフォークリフトで荷下ろし(フォークリフトTOPPAN手配)、ブースでの荷ほどきは日本通運対応
- ※パレットは一旦持ち帰り、撤去時にまた持ってくる
(日本通運対応)

設営作業

●ユビキタス魚探

事前にいただいた組立説明書に基づき、TOPPANで組み立て対応。

●定置網模型

模型台座部分と台座の脚が分かれた状態での納品だったので組み立て対応。

※定置網模型については模型の網が剥がれてしまっている所があったので日東製網様に修理対応いただいた。

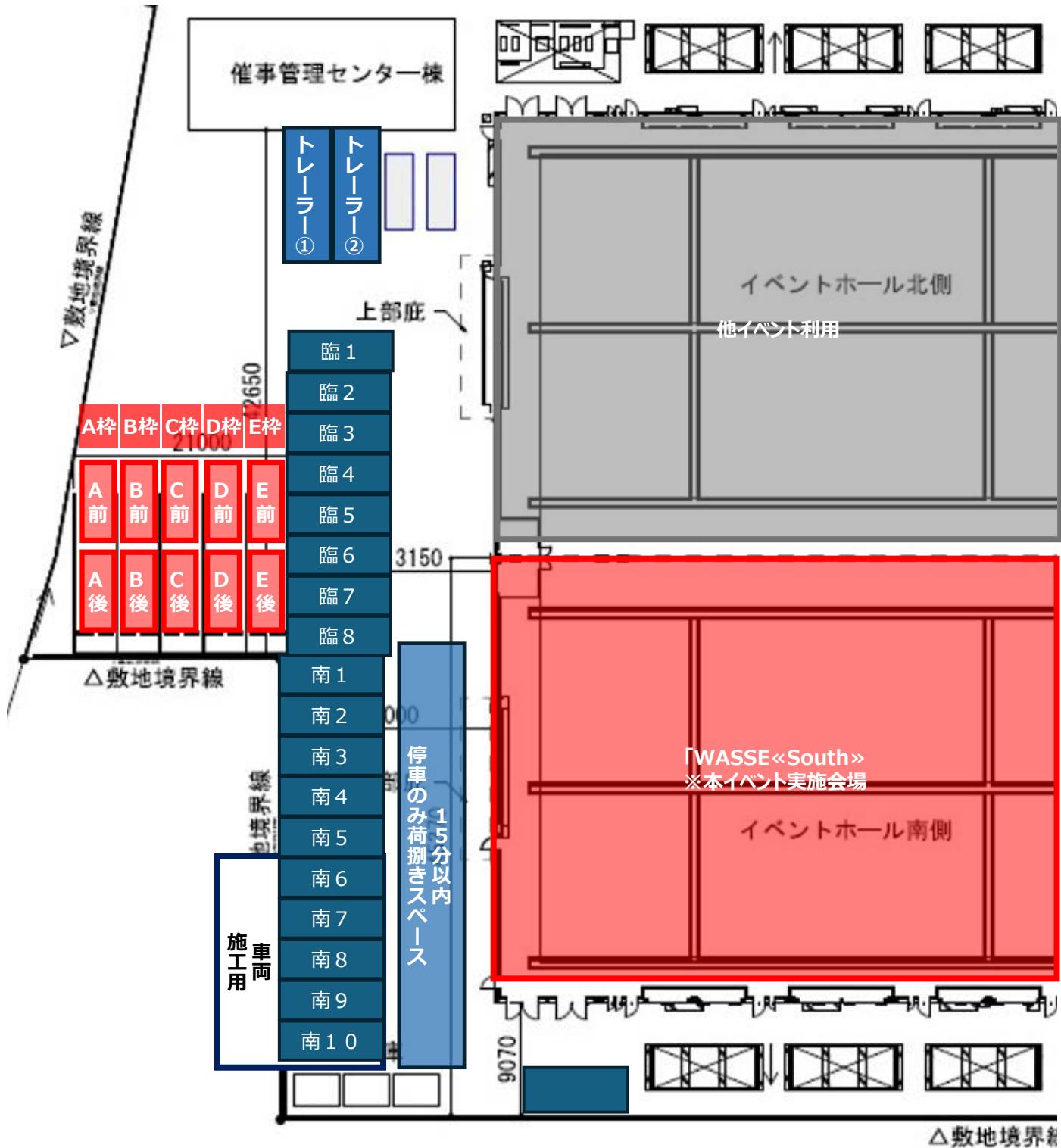
■ その他事業者

搬入及び設営対応無

会場駐車場情報 (15日(日)撤去時)

駐車枠について

15日(日)20時以降撤去時における駐車場は以下の枠にて運営。



（2）展示ブースの設営と運営管理および撤収

搬出・撤去詳細

駐車可能時間

15日(日)の各ブース撤去時の駐車場利用枠は、各事業者様へ以下の通りご案内した。

日東製網 : 21:00~22:00 B枠後

その他事業者 : 利用なし

搬出作業詳細

■ 日東製網

搬出作業

- 搬出物 : ユビキタス魚探・定置網模型・水中カメラ
 - 搬出車両 : 4t トラック
 - 運搬方法 : 以下の流れで運搬
 - ①WASSE会場で運搬品梱包（日本通運対応）
 - ②フォークリフトでトラックへ積込（TOPPAN対応）
 - ③梱包補強対応（日本通運対応）
 - ④WASSE会場から福山工場へ運送（日本通運対応）
 - ⑤福山工場でフォークリフトで荷下ろし（日東対応）
 - 備考 : 搬入時の運送品に追加で水中カメラ(搬入時は事務局の事前倉庫へ納品)を搬出トラックに積載

撤去作業

- ユビキタス魚探
 - 定置網模型

緩衝材への梱包作業は日本通運が対応

■ その他事業者

搬出及び撤去対応無

搬入出日にWASSE会場駐車場を利用しない搬入・搬出について

ホクモウ

搬入品 : 魚っちV
搬入方法 : 事務局用意の指定倉庫（5月28日（水）～6月3日（火）の期間内指定日必着）に事前輸送
指定倉庫から会場へは事務局が一括して搬入、各出展小間に6月7日（土）13:00に納品
搬出方法 : WASSE会場から指定倉庫へ輸送（TOPPAN対応）し、指定倉庫から返送

ニチモウ

搬入品 : クリアファイル第一便・第二便
搬入方法 : 事務局用意の指定倉庫（5月28日（水）～6月3日（火）の期間内指定日必着）に事前輸送
指定倉庫から会場へは事務局が一括して搬入、各出展小間に6月7日（土）13:00に納品
※第二便は6/8会場へ直接納品（WASSE裏駐車場からブースまで運搬）
搬出方法 : WASSE会場から指定倉庫へ輸送（TOPPAN対応）し、指定倉庫から返送

Re:ism

搬入品 : リサイクル展示品一式
搬入方法 : 事務局用意の指定倉庫（5月28日（水）～6月3日（火）の期間内指定日必着）に事前輸送
指定倉庫から会場へは事務局が一括して搬入、各出展小間に6月7日（土）13:00に納品
搬出方法 : WASSE会場から指定倉庫へ輸送（TOPPAN対応）し、指定倉庫から返送

各展示事業者の駐車場の予約、利用について

作業フロー

駐車場の利用については以下のフローに沿って事業者様毎に申請。

「車両登録申請書」にて利用申請

スプレッドシート「車両登録申請書」内各日付のタブに希望時間帯、車両種類、利用用途、希望駐車場位置を申請。

車両申請書イメージ

利用申請に対して「車両詳細情報入力画面URL」を付与、ログインにて車両登録

申請内容を確認の上、全体事務局にて「車両詳細情報入力画面URL」を付与。
付与された後は申請者（なしのドライバー）にて登録を実施。

当日、車両搬入ゲートより入場しWASSE駐車場へ

入場に際して、「車両証（わかる場所に掲示）」、「AD証（全員分）」、荷物に応じて「持込禁止物例外措置承認書（印刷ないし画面）※次頁に詳細記載」を必ず持参。

WASSE駐車場の利用

①駐車場としての利用の場合

- 博覧会協会発行の「車両証」をダッシュボード等に掲示
- 事務局管理用の「駐車車両許可書」の運用ルールに基づき発行し掲示（退場時回収）



②停車としての利用の場合

- 博覧会協会発行の「車両証」をダッシュボード等に掲示した上で「停車のみ荷捌きスペース」を利用。15分を目途に作業終了し退場。



各展示事業者の持込禁止物例外措置申請に関して

持込禁止物例外措置申請書

今回の万博においては持込禁止物が定義されており、展示出展に際して持込禁止物を持ち込む場合は例外措置申請を実施する必要があるため、今回の催事において事務局側にて想定をした上でいくつかのパターンで申請を実施し、事前承認を得ていた。

本ブースの出展事業者様に関わるのは【持込禁止物申請種類①展示ブース基本】のみだったので、各事業者様には、こちらの承諾書を事前送付し、事業者様毎に出力をしていただき、車両ゲートで提示していただくようご対応をお願いをした。

主に WASSE 内ブース出 展用	持込禁止物申請 種類	承認番号	承認書類 ファイル名	持込禁止物の種類						
				武器、凶器、刃物類				酒類全 般	瓶、缶 類の飲 料	公共交通 機関で持 ち込む スーツ ケースや キャリー ケース等
				施工工具	運営工具	演舞等での模 造品	調理器具			
主に WASSE 内ブース出 展用	①展示ブース基本	PI-000004586	【EXPO2025】【例外措置承認】展示 ブース基本_PI-000004586.pdf	○	※施工工 具の中に 包含					○
主に WASSE 内ステー ジ・ポップ アップス テージ西用	②展示ブース飲食（刃物 調理器具）あり	PI-000005631	【EXPO2025】【例外措置承認】展示 ブース飲食（刃物 調理器具）あり _PI-000005631.pdf	○	※施工工 具の中に 包含		○			○
主に WASSE 内ステー ジ・ポップ アップス テージ西用	③ステージプログラム基本	PI-000005630	【EXPO2025】【例外措置承認】ステー ジプログラム基本 _PI-000005630.pdf		○					○
	④ステージプログラム飲食 (刃物調理器具)あり	PI-000005633	【EXPO2025】【例外措置承認】ステー ジプログラム飲食 (刃物調理器具) あり_PI-000005633.pdf		○		○			○
	⑤ステージプログラム演舞 (模造刀等)あり	PI-000005634	【EXPO2025】【例外措置承認】ステー ジプログラム演舞 (模造刀等)あり _PI-000005634.pdf		○	○				○
	⑥ステージプログラム飲食 (刃物調理器具)あり、 演舞(模造刀等)あり	PI-000005636	【EXPO2025】【例外措置承認】ステー ジプログラム飲食 (刃物調理器具) あり、演舞(模造 刀等)あり_PI-000005636.pdf		○	○	○			○
	⑦オプション 酒	PI-000005637	【EXPO2025】【例外措置承認】オプ ション酒_PI-000005637.pdf					○		
その他	⑧オプション 缶	PI-000005640	【EXPO2025】【例外措置承認】オプ ション缶_PI-000005640.pdf						○	



(2) 展示ブースの設営と運営管理および撤収
運営関連

運営全体スケジュール

運営全体スケジュール

TIME	本番日	本番最終日
	6月9日(月)~14日(土)	6月15日(日)
9:00		
:30		9:00~入館可能
10:00		9:00~10:00 準備時間
:30		
11:00		
:30		
12:00		
:30		
13:00		
:30		
14:00		
:30		
15:00	10:00~20:00 本番開始	10:00~20:00 本番開始
:30		
16:00		
:30		
17:00		
:30		
18:00		
:30		
19:00		
:30		
20:00	20:00~クローズ作業 21:00完全退館	20:00~撤去開始 22:00~24:00 WASSE駐車場 利用可能時間
0:00		

【準備】

- ・9時～WASSEの鍵が空くため、関係者は9時以降～10時までにWASSEに入館。（初日は除く）

【片付け】

- ・20時にお客様が完全退館するため、21時までに片付けを終えるよう周知。
※基本的に20:20頃には全事業者様撤収。

スマート水産業ブースへのVIP来訪

スマート水産業ブースへのVIPスケジュール

	6月8日(日)	6月9日(月)	6月10日(火)	6月11日(水)	6月12日(木)	6月13日(金)	6月14日(土)	6月15日(日)
10:00								
10:30								
11:00								
11:30								
12:00								
12:30	12:40~12:45 山本大臣 政務官							
13:00								
13:30								
14:00								
14:30								
15:00								
15:30								
16:00					16:05~16:15 滝波副大臣 クリストフ・ハンセン 欧州委員			
16:30								

VIP来訪写真

農林水産大臣政務官 山本 佐知子氏

農林水産副大臣 滝波宏文氏
欧州委員 農業・食料担当 クリストフ・ハンセン氏

スマート水産業ブースへのメディア来訪

スマート水産業ブースへのVIPスケジュール

	6月8日(日)	6月9日(月)	6月10日(火)	6月11日(水)	6月12日(木)	6月13日(金)	6月14日(土)	6月15日(日)
10:00								
10:30							11:00~11:30 水産経済新聞	
11:00		11:00~11:30 福井テレビ						
11:30	11:30~12:00 水産経済新聞							
12:00								
12:30								
13:00								
13:30								
14:00								
14:30								
15:00								
15:30								
16:00								
16:30								

取材詳細

●6/8(月) 11:30~12:00

メディア：水産経済新聞

取材内容：オープニングセレモニー、水産関係ブースの取材

●6/9(月) 11:00~11:30

メディア：福井テレビ

取材内容：スマ水ブース取材（リサイクルの内容のみ）

●6/14(土) 16:15~16:30

メディア：水産経済新聞

取材内容：ポップアップステージ、水産関係ブース取材

(7月7日16時台放映_福井TV)



(7月18日_水産経済新聞紙面)



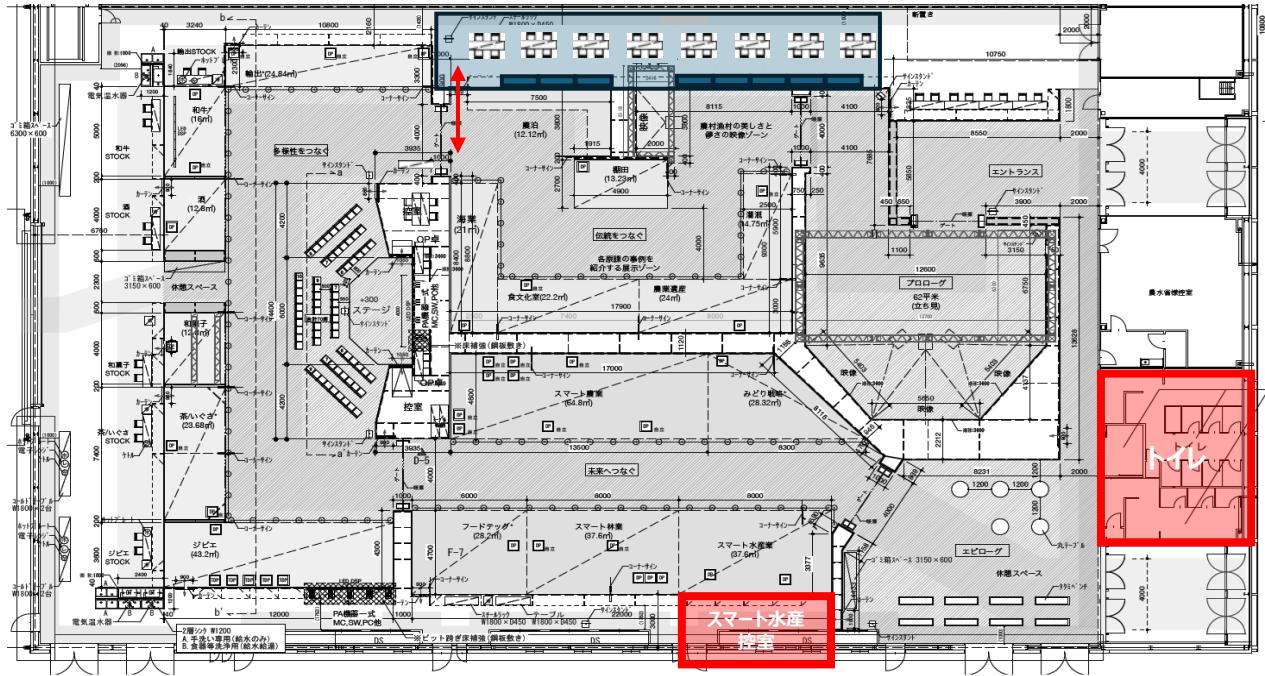
(2) 展示ブースの設営と運営管理および撤収

控室・服装関係

控室について

・下図赤枠を出展者控室として使用

* 備品：机1・椅子2のセット



服装

水産庁：ユニフォーム

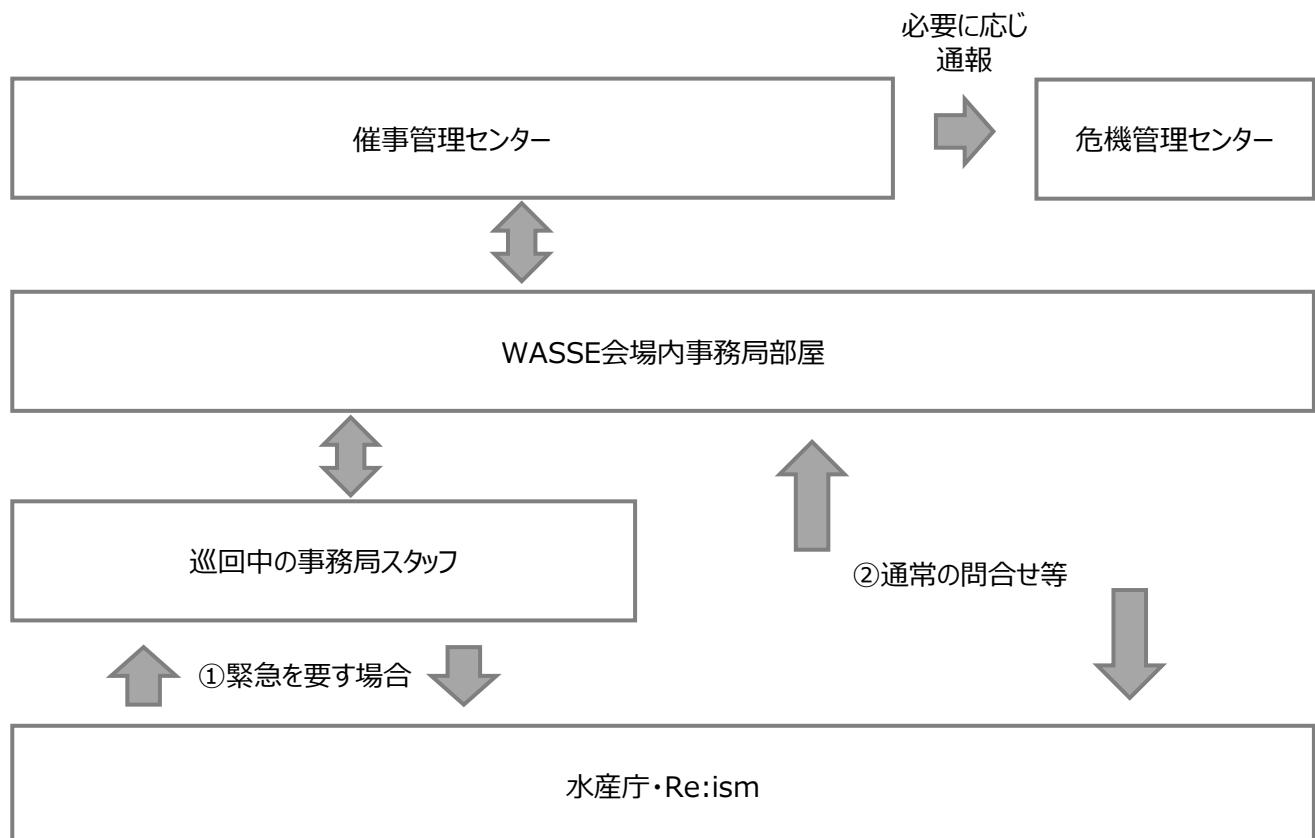


Re:ism：ユニフォーム



緊急時（エスカレーション）の対応

緊急時のフロー



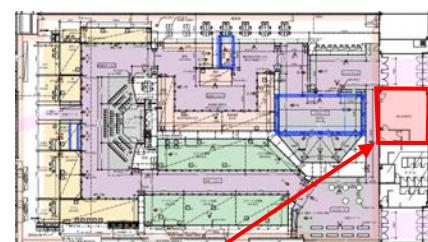
①緊急時：巡回中の事務局スタッフへ

(例) 急病人・けが人・まいご・不審者・ブース運営が続行不可などのイレギュラー等
右画像の法被を着たスタッフにお声掛け。

②通常のお問合せ・落とし物等：WASSE会場内事務局へ
右図の事務局内のスタッフにお声掛け。

※傷病者の発生時は、医療救護施設へ来所しないよう

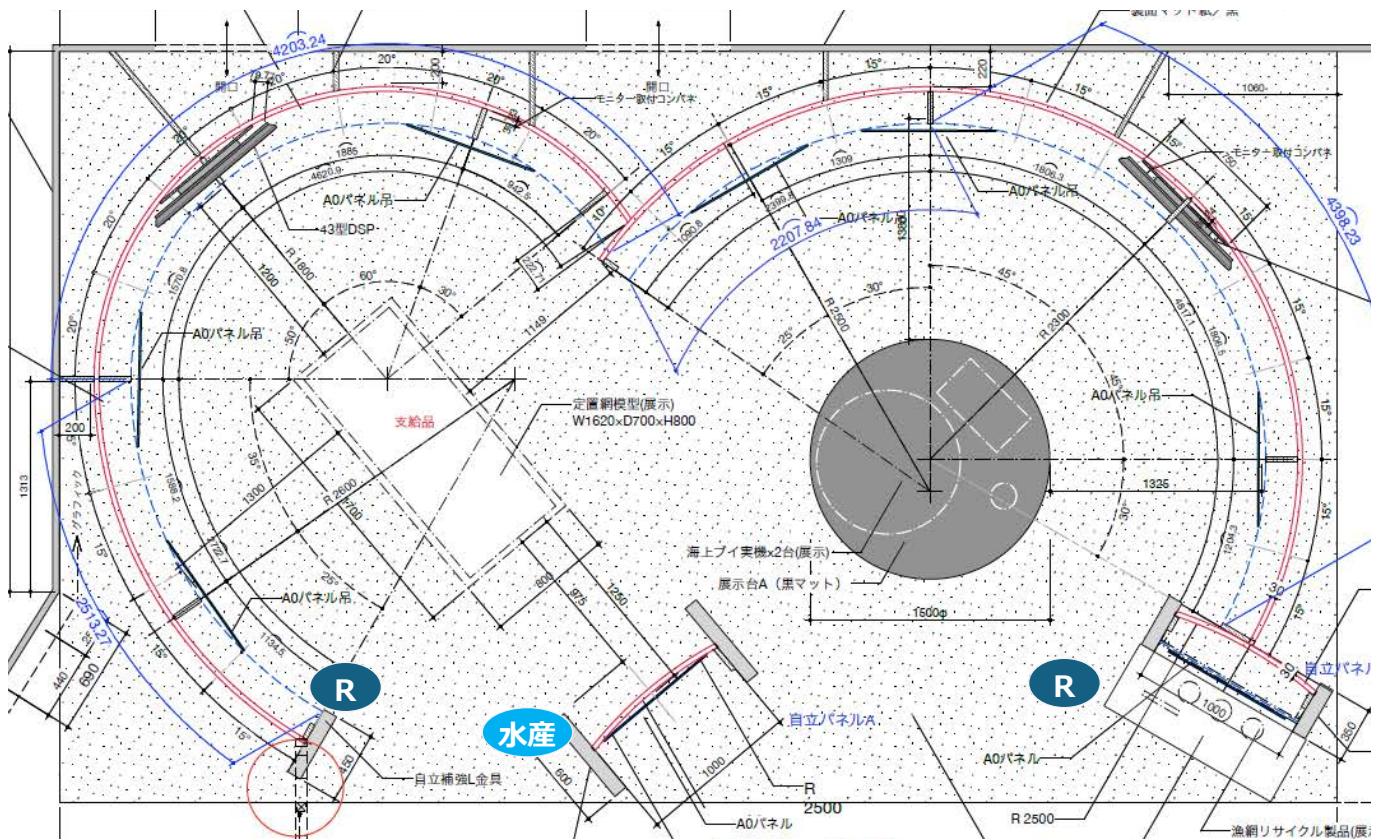
※AEDは南応急手当所



事務局

（2）展示ブースの設営と運営管理および撤収 本番時ブース運営

スタッフ配置図



アイコン	ブース	ポジション	所属	人数	業務内容
	スマート水産業 ブース	全体説明・案内スタッフ	水産庁	1	概要説明・ブース内巡回・ VIP対応・サンプリング配布
		説明・配布スタッフ	Re:ism	2	リサイクル展示品説明 サンプリング配布

運営マニュアル



株式会社Dignity にて運営計画に基づき運営マニュアルを作成

水産庁

個人名記載のため非公開とさせていただきます

Re:ism

個人名記載のため非公開とさせていただきます



(3) 事業実績報告書の作成
写真報告

ブース全体

・全体俯瞰～ZONE1



・ZONE2～3

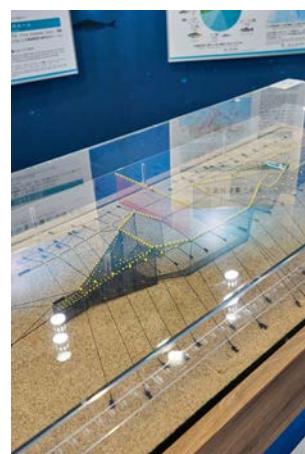


・ZONE3～4



展示品

・ZONE2



・ZONE3



・ZONE4



写真報告

・VIPご対応



(3) 事業実施報告書の作成
運営時写真報告_②

写真報告

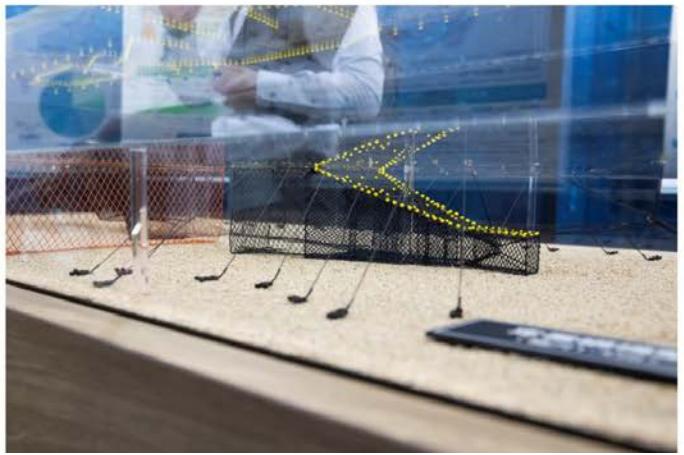
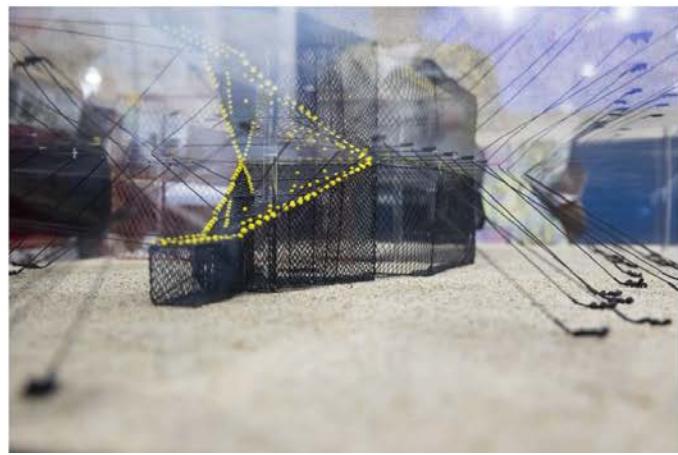
・ブース内紹介①



・ブース内紹介②



・ブース内紹介③



写真報告

・ブース内紹介④





その他

全体アンケート関係_①

全体アンケート実施概要

エピローグエリアにて本催事全体に関するアンケートが実施された。

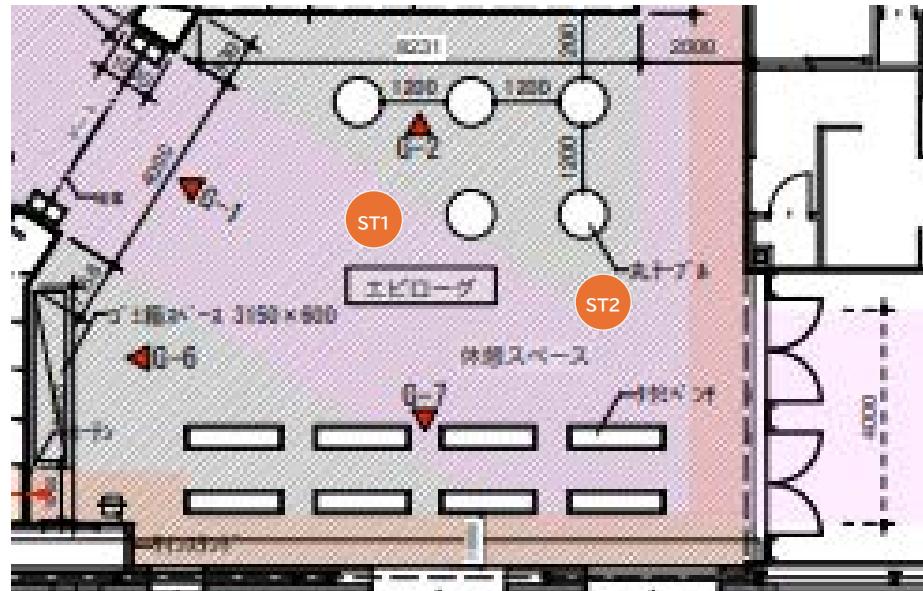
本アンケートは本催事全体に対してのアンケートで、アンケートの総回収数は9,004件。

項目	詳細
実施場所	エピローグエリア～出口
実施媒体	Microsoft foamsにて作成したアンケート
実施方法	Microsoft foamsにて作成したアンケートをQR化し、QRコード付きの手持ちサインを持ったスタッフ（事務局スタッフが2ポジション）がエピローグエリア～出口に向かう来場者に対して声かけ案内を行った上で実施。
ノベルティ	アンケート回答者に対して「RELAY THE FOOD」のロゴマークステッカーをプレゼント。

■アンケート実施の様子



■実施場所（エピローグエリア）図面



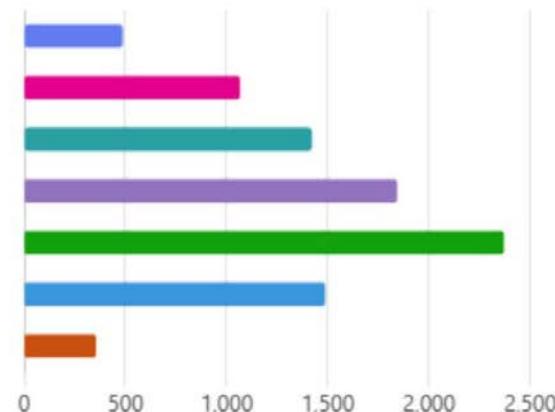
アンケート回答結果①

アンケート総回収数：9,004件

1. 年齢を教えてください。

What is your age?

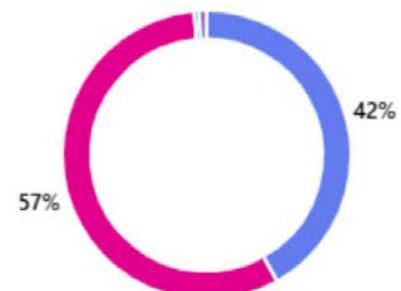
● 10代 below 10-10's	483
● 20代 20's	1063
● 30代 30's	1418
● 40代 40's	1839
● 50代 50's	2366
● 60代 60's	1483
● 70代以上 70's and over	352



2. 性別を教えてください。

Which of the following best represents your sexual orientation?

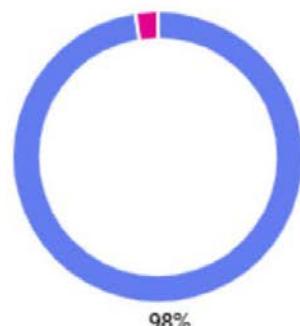
● 男性 Male	3772
● 女性 Female	5109
● その他 Other	47
● 答えたたくない Prefer not to answer	76



3. 出身国を教えてください。

What is your country of origin?

● 日本	8779
● その他	225

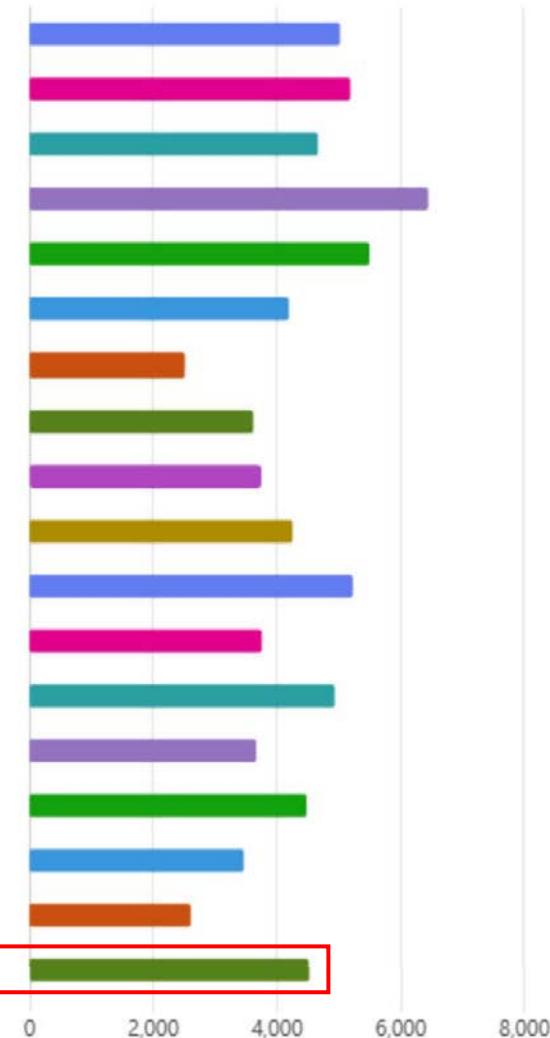


アンケート回答結果②

4. 立ち寄った展示ブースを全てお選びください。

Please select all the exhibition booths you visited.

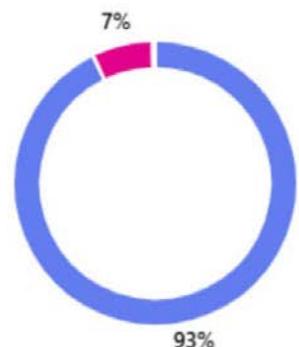
● 1 かんがい Irrigation	5017
● 3 棚田 Rice terraces	5185
● 2 農業遺産 Agricultural Heritage Systems	4660
● 4 日本の食文化 Traditional Dietary Cultures of Japan	6444
● 5 海業 UMIGYO	5493
● 6 農泊・渚泊 Countryside Stay / Seaside Stay	4191
● 7 輸出 Export	2509
● 8 和牛 Wagyu	3615
● 9 日本産酒類 Japanese Alcoholic Beverages	3746
● 10 和菓子 Japanese sweets	4249
● 11 お茶 Japanese tea	5226
● 12 いぐさ Rush grass	3753
● 13 ジビエ Gibier	4931
● 14 フードテック Food tech	3663
● 15 スマート農業 Smart agriculture	4476
● 16 スマート林業 Smart forestry	3462
● 17 みどり戦略 MIDORI Strategy	2604
● 18 スマート水産業 Smart fishery	4511



5. 日本の農林水産業に根付いた食文化に興味をもちましたか？

Did our exhibition enhance your interest in the food culture rooted in Japan's agriculture, forestry, and fisheries industries?

- 興味をもった Yes, I am more interested. 8351
- どちらでもない No change, neutral. 626
- 興味をもてなかった No, I am not interested. 27

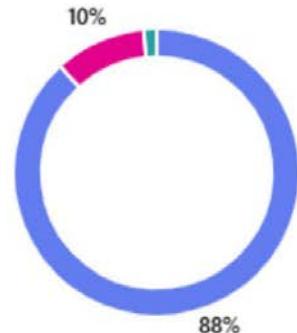


アンケート回答結果③

6. 日本の各地域に実際に行ってみたくなりましたか？

Did our exhibition enhance your interest in visiting different areas or religions of Japan?

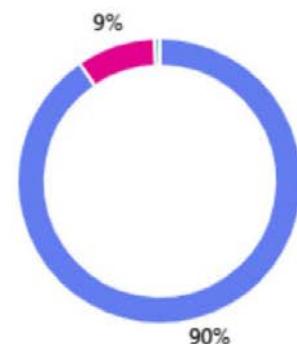
- 行ってみたい Yes, I am more interested. 7947
- どちらでもない No change, neutral. 927
- 行くほどではない No, I am not interested. 130



7. 日本の食に関する理解が深まりましたか？

Did our exhibition help you better understand Japanese food and culture?

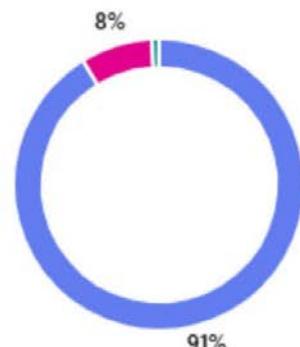
- 深まった Yes, I have better understanding. 8146
- どちらでもない I don't know. 808
- 深まらなかった No change. 50



8. 日本の食は今以上、海外に広がると思いますか？

Do you think Japanese food has potential to spread more worldwide?

- 広がると思う Yes. 8213
- どちらでもない I don't know. 719
- 今以上広がらない No. 72

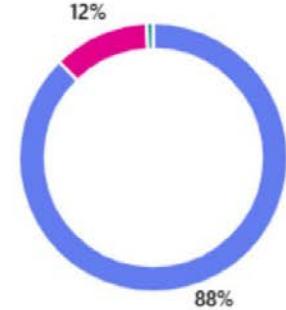


アンケート回答結果④

9. 日本の農林水産業の未来に繋がる取組の理解が深まりましたか？

Did our exhibition help you better understand the projects and future commitments for Japan's agriculture, forestry, and fisheries industries?

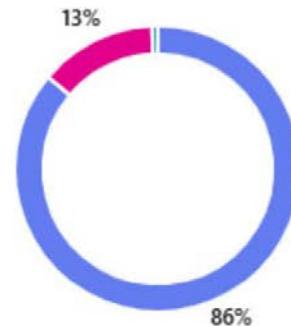
- 深まったく 7891
- どちらでもない 1041
- 深まらなかった 72



10. 日本の農林水産業の未来に繋がる取組は地球規模の課題解決に貢献すると思いますか？

Do you think Japan's agriculture, forestry, and fisheries industry will contribute to solving global issues?

- 貢献する Yes, I think it will. 7753
- どちらでもない I don't know. 1191
- 貢献しない No, I don't think it will. 60



11. 本展示に関するご意見・ご感想がございましたら自由に記述ください。

If you have any other comments, please let us know.

1987

応答

9,004件のアンケート回答のうち1,987件の感想コメントを頂戴した。
スマート水産業ブースに関わるものを次頁でいくつか取り上げている。

アンケート回答結果⑤

アンケート設問11の自由記述において記入のあった、スマート水産業に関するコメントは以下の通り（抜粋）。

回答内容

20代 女性 お茶を目的に来たが、魚網のリサイクルについて知れたのがよかったです。

20代 男性 スマート水産業がよかったです

30代 男性 教科書で見た定置網の仕組みや初めて見る技術など、スタッフの方に詳しく教えていただき、大変勉強になりました。
また、スタッフの方々の笑顔や誇らしげな表情を拝見して、とても嬉しい気持ちになりました。

個人的に今日の万博のハイライトです。

30代 女性 実際の活動内容を目にすることが出来、新たな食文化や産業の発展を感じることが出来ました。

医療業界に勤めているので、食べられる3Dプリンターはとても興味深いものでした。

嚥下機能の低下によりペースト食が必要となったときでも食への楽しみをもてる可能性があると感じました。

最も興味を惹かれたのは漁業産業であり、漁師の網からさまざまなものに生まれ変わり身近なものになっていると知ることができました。これからはリデュースやサステナブルを意識して生活していきたいと思うことができました。

イベント参加ありがとうございました。また機会があれば是非参加したいと思います。

40代 女性 魚網の再生にとても夢を感じました。持続可能になればいいな、と思いました。

40代 女性 廃棄漁網がリサイクルされていることに興味がわきました。もっと普及してほしい

50代 女性 魚の網をリサイクルする説明を受けました。取り組みは素晴らしいと思います。ファイルありがとうございました。

50代 男性 魚網リサイクルに興味を持った

60代 女性 スマート水産の説明が分かりやすくてよかったです。日本の美味しい魚を世界中の人に食べてもらえるといいです。

60代 男性 定置網の仕組みが興味深かった まさかクリーニングしながら、取り替えながら使っているとは知らなかつた

60代 男性 リサイクルのサングラスが素晴らしいと思いました

エピローグ壁面コンテンツ実施概要

「食と風土を次世代につなぐために、あなたができることは？」を題目とした上で、来場者が見てきた各ブース展示、ステージプログラムなどで感じたことやアクションを付箋に書いてもらい壁面に添付いただいた。

本コンテンツは本催事全体に対しての感想を求めるもので、付箋の総回収数は4,536枚。

項目	詳細
実施場所	エピローグエリア～出口
実施媒体	付箋
実施方法	事務局スタッフから来場者へテーブルで付箋にメッセージを記入していただくようお声掛けを実施し、記入した付箋は壁面の所定の位置に貼っていただく。

■エピローグ壁面の様子



日別付箋回収数

6月8日(日)	758枚
6月9日(月)	539枚
	(合計1,297枚)
6月10日(火)	357枚
	(合計1,654枚)
6月11日(水)	420枚
	(合計2,074枚)
6月12日(木)	508枚
	(合計2,582枚)
6月13日(金)	401枚
	(合計2,983枚)
6月14日(土)	739枚
	(合計3,722枚)
6月15日(日)	814枚
	(合計4,536枚)

期間中の総回収数 4,536枚

付箋記載内容

付箋の記述で記入のあった、スマート水産業に関するコメントは以下の通り（抜粋）。

※アンケートと違い、記載の必要がなかった年代や性別の情報は不明。

回答内容

- ・スマート農林水産業 希望があるね！
- ・スマート水産業 リサイクルで作られたファイルはすごかった。物をもらえるブースが増えるとうれしい。
- ・日本のスマート農業スマート水産業担い手不足に挑戦がんばれ
- ・定置網真っ黒クリアファイルがいい感じ！！
- ・魚網が丁寧な作業でリサイクルされているということを教わりました よくわかりました ありがとうございました
- ・定置網のしくみを説明をききながら知ることが出来て、漁業のおもしろさを再認識した！
- ・日本の食は世界にはこれると思います、漁網のリサイクル品を買ってみたいです
- ・定置網めっちゃでかい！魚を食べたくなりました
- ・家からスマホで定置網に入っている魚量がわかる時代が来ている！勉強になりました。
- ・ロボットによる（林業）機械化や漁業等の定置網の維持管理の大変さがよくわかりました
- ・漁業の盛んな地域に住んでいるけれど、網のリサイクルは知らなかった。やっているのかな？もっと広まつたらいいな
- ・魚の網のリサイクル最高です
- ・今日学んだことを友達に伝える！定置網のしくみがすごく感動した！

来場者人数関係_①

WASSE内来場者数 (WASSE内ステージプログラム含む)

	6月7日	6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日	6月15日	6月16日	計
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
来場者数(A)	-	9,016	9,077	8,487	11,130	12,380	13,819	14,582	15,746	-	94,237
エピローグ付箋回収数	-	761	542	358	422	513	404	739	839	-	4,578
エピローグアンケート回答数	-	811	1,019	962	1,164	1,217	1,056	1,471	1,304	-	9,004
メディア来場者数	-	8	4	4	1	4	1	1	27	-	50

時間帯別来場者数

時間帯	6月7日	6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日	6月15日	6月16日	計
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
09:00 ~ 10:00	-			-	-	-	-	-	-	-	-
10:00 ~ 11:00	-			644	699	647	615	679	790	880	- 4,954
11:00 ~ 12:00	-			532	829	714	776	749	860	1,011	- 5,471
12:00 ~ 13:00	-		210	1,083	932	1,267	1,352	1,250	1,381	1,649	- 9,124
13:00 ~ 14:00	-	1,927	1,564	1,042	1,695	1,920	2,096	1,957	1,874	-	14,075
14:00 ~ 15:00	-	1,746	1,448	1,253	1,487	2,203	2,190	2,074	2,566	-	14,967
15:00 ~ 16:00	-	1,607	1,201	1,233	1,652	1,837	1,834	1,824	2,096	-	13,284
16:00 ~ 17:00	-	1,210	779	942	1,265	1,313	1,627	1,727	2,067	-	10,930
17:00 ~ 18:00	-	1,558	747	776	1,322	1,160	1,442	1,857	1,823	-	10,685
18:00 ~ 19:00	-	550	882	557	897	1,011	1,560	1,650	1,407	-	8,514
19:00 ~ 20:00	-	208	197	224	184	193	392	462	373	-	2,233
20:00 ~ 21:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
21:00 ~ 22:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	0	9,016	9,077	8,487	11,130	12,380	13,819	14,582	15,746	0	94,237

ポップアップステージ西ステージプログラム観覧者数

	6月7日	6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日	6月15日	6月16日	計
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
観覧者数(B)	1,419	5,716	-	-	-	-	-	2,264	2,916	-	12,315

来場者人数関係_②

総来場者数 (WASSE内来場者数+ポップアップステージ西観覧者数)

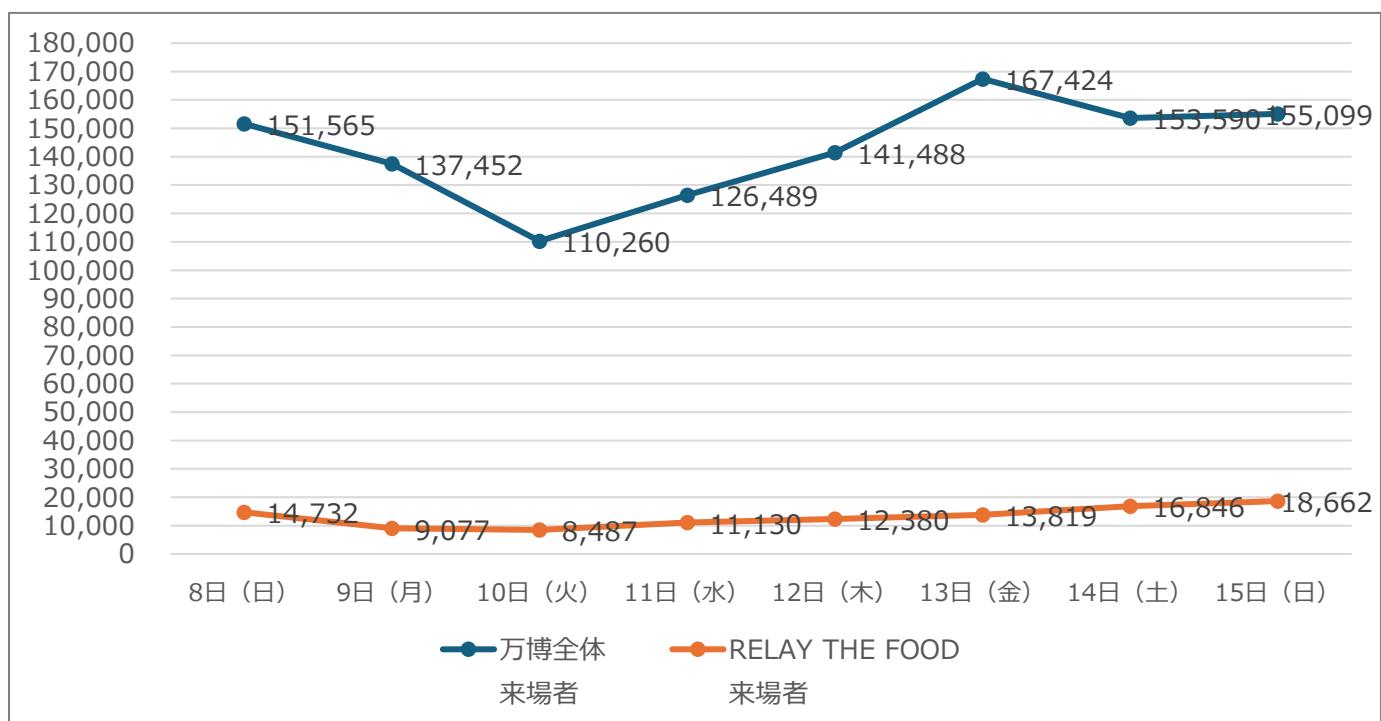
	6月7日	6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日	6月15日	6月16日	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	計
天候	曇り	曇りのち雨	曇りのち雨	雨	雨のち曇り	曇りのち晴れ	曇り	曇りのち雨	雨のち晴れ	雨のち晴れ	
気温	26.7°C 20.9°C	26.1°C 21.5°C	25.0°C 20.6°C	24.5°C 19.1°C	24.4°C 21.9°C	27.7°C 19.7°C	30.7°C 20.0°C	25.6°C 22.0°C	29.1°C 24.1°C	33.6°C 23.4°C	
来場者数 (A+B)	1,419	14,732	9,077	8,487	11,130	12,380	13,819	16,846	18,662	-	106,552

(参考) 万博来場者数

	6月7日	6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日	6月15日	6月16日	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	計
来場者数	-	151,565	137,452	110,260	126,489	141,488	167,424	153,590	155,099	-	-1,143,367
うち、AD証入場者数	-	19,040	17,886	18,217	18,144	18,683	18,567	18,119	18,338	-	-146,994
チケット購入来場者数	-	132,525	119,566	92,043	108,345	122,805	148,857	135,471	136,761	-	-996,373

(参考) 万博来場者数に対する本催事の来場者率

	6月7日	6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日	6月15日	6月16日	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
万博会場総来場者数に対して	-	9.72%	6.60%	7.70%	8.80%	8.75%	8.25%	10.97%	12.03%	-	9.32%
チケット購入来場者数に対して	-	11.12%	7.59%	9.22%	10.27%	10.08%	9.28%	12.44%	13.65%	-	10.69%



スマート水産業ブースへの来場者人数概算

スマート水産業ブース単体への来場者人数のカウンタは実施しなかったが、下図より全体アンケート9,004件の回答のうち、4,511件（全体の約50.1%）はスマート水産業ブースへ立ち寄ったことが分かる。

WASSE会場への合計来場者人数は94,237名のため、**約47,212名の方がスマート水産業ブースへ来場されたと考えられる。**

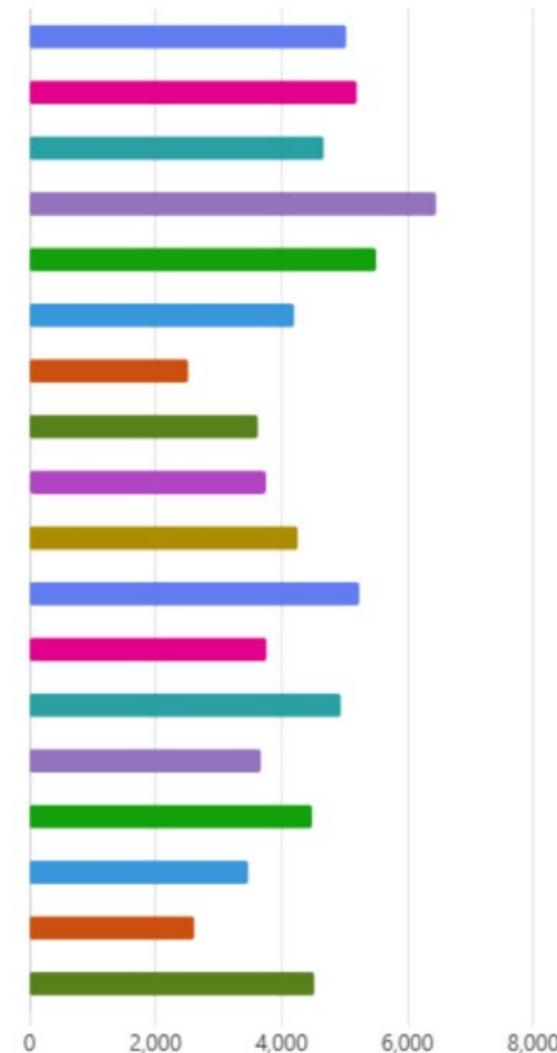
●全体アンケート設問4の結果

4. 立ち寄った展示ブースを全てお選びください。

Please select all the exhibition booths you visited.

アンケート総回収数：9,004件

● 1 かんがい Irrigation	5017
● 3 棚田 Rice terraces	5185
● 2 農業遺産 Agricultural Heritage Systems	4660
● 4 日本の食文化 Traditional Dietary Cultures of Japan	6444
● 5 海業 UMIGYO	5493
● 6 農泊・渚泊 Countryside Stay / Seaside Stay	4191
● 7 輸出 Export	2509
● 8 和牛 Wagyu	3615
● 9 日本産酒類 Japanese Alcoholic Beverages	3746
● 10 和菓子 Japanese sweets	4249
● 11 お茶 Japanese tea	5226
● 12 いぐさ Rush grass	3753
● 13 ジビエ Gibier	4931
● 14 フードテック Food tech	3663
● 15 スマート農業 Smart agriculture	4476
● 16 スマート林業 Smart forestry	3462
● 17 みどり戦略 MIDORI Strategy	2604
● 18 スマート水産業 Smart fishery	4511



目標設定

本事業において実現すること

本事業のスマート水産業技術の情報発信・普及啓発を通じ、下記（1）（2）の実現を目標として設定。

（1）スマート技術を用いた定置網漁業における漁業管理

我が国における定置網漁業の歴史から漁業管理に資する技術開発の取組を、説明パネル、映像及び展示物を用いた展示による解説並びに定置網本体の縮小模型、スマート機器の実物及びスマート機器から得られたデータ・映像等を用いた展示によって発信することで、現場へのスマート技術普及を促進するとともに、国内外からの来場者に対して**我が国水産業のイメージ向上を図ることを目標とする**ことを目指す。

（2）グリーン技術の活用に向けた取組

我が国で進められている漁網のリサイクルに関する取組について、説明パネル等を用いて解説するとともに、漁網リサイクル製品を使った展示物等を展示することで、国内外からの来場者に対して**水産資源の持続的な利用に向けた我が国の取組への理解醸成を図ることを目標とする**ことを目指す。

考察

（1）スマート技術を用いた定置網漁業における漁業管理

【アンケート設問9：日本の農林水産業の未来に繋がる取組の理解が深まりましたか？】では、約9割が深まったと回答しており、**スマート水産業に対する興味・関心への喚起につながった**と考える。

また、アンケートや付箋の自由記述では「魚網の再生にとても夢を感じました。持続可能になればいいな、と思いました。」「家からスマホで定置網に入っている魚量がわかる時代が来ている！勉強になりました。」など**スマート技術の可能性に期待する声**が寄せられており、**スマート技術に対する理解の促進・イメージの向上を図る目標**について達成できたと考える。

（2）グリーン技術の活用に向けた取組

アンケートの自由記述や付箋の記述では**漁網リサイクル品に対する声が多数寄せられていた**。

「漁師の網からさまざまなものに生まれ変わり身近なものになっていると知ることができました。」「リサイクルのサングラスが素晴らしいと思いました」「漁業の盛んな地域に住んでいるけれど、網のリサイクルは知らなかった。」などの声があり、**漁網リサイクル品の事を知らない多くの方に対して情報を発信できた**と考える。

なお、漁網をリサイクルしてつくったノベルティ（クリアファイル）は期間中で約26,150枚を配布することに成功するなど、**水産資源の持続的な利用に向けた取組への理解醸成を図ること**についても目標を達成できたと考える。

目標数値

目標数値

下記数値を実際の大阪・関西万博における、スマート水産業技術展示での想定体験数として設定・成果目標とし、各実施内容の企画・制作を行った。

- ①メッセ会場への1日の来場者数：約6,000人/日
- ②展示品・解説パネルの観覧数：全日で約5,000人
- ③概要パネルの観覧数：全日で約40,000人

考察

①メッセ会場への1日の来場者数：約6,000人/日

【WASSE内来場者数（WASSE内ステージプログラム含む）】の集計結果より、全日の来場者数は94,237名。
1日の平均来場者数は約11,780名という結果となった。

来場者数が一番少なかった6/10(火)でも8,487名の来場があり、**目標数値の約2倍と大幅に上回る**結果となった。

②展示品・解説パネルの観覧数：全日で約5,000人

【スマート水産業ブースへの来場者人数概算】より、**スマート水産業ブースへの来場者数は全日で約47,212名**。どこまでしっかりと展示品やパネルを見られたかは個人差があるはずだが、少なくともスマート水産業技術に触れていただいたことは間違いない。

熱心に展示品をご覧の方や、説明を聞かれていた方も非常に多く、ブースも常に人が滞留している状況だった事を考えると、**目標数値の約9倍と大幅に上回る**人数の来場者に技術展示を観覧していただいたといえる。

③概要パネルの観覧数：全日で約40,000人

【スマート水産業ブースへの来場者人数概算】より、**スマート水産業ブースへの来場者数は全日で約47,212名**。ブースへの来場者の多くは展示パネルをご覧になられており、展示品やパネルを写真に撮っている方なども多くいらっしゃった。スマート水産業技術の理解促進に貢献できたかと考える。

観覧数も目標数値を達成する結果となったと考える。